

真宗

〈教団の動き〉

「教化伝道研修」第5期始まる

第13回「坊守就任研修会・坊守就任式」開催

真宗本廟 お煤払い

真宗大谷派学校連合会 結成60周年記念

「合同報恩講」厳修

〈災害救援本部より〉

青森県東方沖を震源とする地震について

勿忘の鐘—2026—

〈お知らせ〉

【東北教区】保養事業及び「子どもたちを放射能からまもろう基金」の取り扱いについて

〈ご案内〉

2026年 真宗本廟 春の法要

2月号

2026(令和8)年



雪の阿弥陀堂

真宗

2月号

第1463号

宗派公式ウェブサイト
で宗派情報の発信を行って
います。



各教区・開教区等の
行事一覧



樹心佛地「一人の念仏者の誕生」を願い	2
教団の動き	3
「教化伝道研修」第5期始まる	
第13回「坊守就任研修会・坊守就任式」開催	
真宗本廟 お煤払い	
真宗大谷派学校連合会 結成60周年記念「合同報恩講」厳修 〈災害救援本部より〉	
青森県東方沖を震源とする地震について	7
勿忘の鐘—2026—	8

お知らせ

【東北教区】保養事業及び「子どもたちを放射能から まもろう基金」の取り扱いについて	9
教行信証(坂東本) カラー影印本 申込受付中	10
(広告) 月刊『同朋』2月号—特集「男性」を生きることのこれから—	11

ご案内 2026年 真宗本廟 春の法要

春の法要 日程	12
2026年「春の法要」参拝のご案内	14
春の法要出仕要項	17

各種連載

児童教化のページ (597)	18
今月のお寺 (232) 〈敬信寺〉「新しい地での試行錯誤」	20

ご案内・要項

総合相談室	21
教区真宗学院生募集要項(金沢・大垣・名古屋)	26
第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開	27
真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】	28
第26回非戦・平和沖縄研修会 募集要項	29
蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集	30
「蓮如上人御影道中」自主参加者募集	31
第14回世界同朋大会のご案内	32
第3回「真宗トーク」アプリで対話カフェ 参加者募集	34
真宗本廟奉仕のご案内	35
現在受付中の募集・開催要項等	35
真宗教化センター しんらん交流館のご案内	36
大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内	36
真宗本廟 参拝接待所のご案内	38
真宗本廟取骨・読経・帰敬式受付時間表(3月~4月)	40

公示・告示・任免等

	42
--	----

新刊のご案内

「まんが日本昔ばなし」にも収録される
民話をもとにした絵本

たぬきの手習い

絵: こやまもえ

あの信楽焼の狸の姿の由来ともいわれる、
滋賀県長浜市の民話をもとにした絵本。

人間の子どもに化け、村の子たちと一緒に
お坊さんから読み書きを習っていたこだぬき
たち。そのお礼にお酒をお坊さんに届けるも、
正体分かり、こだぬきたちはお寺に行けな
くってしまう…。

悲しくもやさしいお話をとおして、共に生き
たい。という大切なメッセージを伝える一冊。

B5判/24頁 定価: 1,540円(税込)



東本願寺出版

TEL:075-371-9189まで

詳しい書籍情報・
試し読みは

東本願寺出版



<p>全編解説 浄土論註 ——社会環境による苦悩解決への道—— ——浄土教とは異なる「浄土論註」理解を導く—— ——専修念仏・住蓮二回向の根源的意義を明らかにし、現実社会における救いの姿を描き出す!——</p> <p>1,100円</p>	<p>改訂版 親鸞の成仏道 ——「証」の二重性と真実証—— ——「証」の二重性と真実証—— ——「証」の二重性と真実証——</p> <p>1,100円</p>	<p>大乗仏教が 妙好人の世界 ひらいた 菊藤明道 ——妙好人を世界に知らしめた鈴木大拙をはじ め、柳宗悦・楠泰氏などの妙好人研究の軌跡を辿り、その 霊性的世界と今日的意義を問う。——</p> <p>1,100円</p>	<p>独語集「校訂版」 ——鎌倉・室町時代—— ——著者が日常で思い、感じ、書いたことを書きと めた独白集。自らを深く含める「内観」という書名につい て具体的かつ丁寧に掘り下げた名著——</p> <p>1,100円</p>	<p>法蔵館文庫 ■異彩を放つ親鸞論の真価に迫る決定版! 三木清「親鸞」 岩田文昭 ——親鸞の物語はいかにして誕生し変容してきたのか。 ——</p> <p>1,100円</p>	<p>教行信証の哲学 ——哲学書としての「教行信証」—— 武内義範 石田慶和 岩田文昭 監修 ——</p> <p>1,100円</p>	<p>【10】五年発売のオスス々本特集 ——</p>
<p>〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458</p>	<p>法蔵館</p>	<p>https://pub.hozokan.co.jp 新刊メール配信中! 表示価格税込 お買上16,500円(税込)以上送料無料</p>	<p>現代語訳 六要鈔 柳瀬彰弘 ——</p> <p>1,100円</p>	<p>——</p>	<p>——</p>	<p>——</p>

「一人の念仏者の誕生」を願う

樹心佛地

近年どこのお寺でもご門徒の参拝が減少している。従来は農閑期に近郷近在のご門徒宅または集会所等でお講が開かれ、仏法が語られてきた。また、朝夕どこの家からも聞こえてきた「正信偈」のお勤めの声も、この頃はめっきり少なくなってきた。

こうした真宗の麗しい宗風が失われている中で、お清め・お祓い・お礼・お守り・占い・呪いなど、おおよそ真宗には馴染まないものが増えているように思える。

蓮如上人の御文に「当流の安心の一義というは、ただ南無阿弥陀仏の六字のころなり。(中略)このゆえに一切の聖教というも、ただ南無阿弥陀仏の六字を信ぜしめんがためなり」(『真宗聖典 第二版』一〇〇五頁)という言葉がある。

真宗では、本当の安心というのは、お念仏を申す私になることによって得られるのだ。そしてもうもの雑業を説くすべてのお聖教は、まさにお念仏の優れた効能を私たちに教えるためにあると説かれている。

法然上人は「廃立」という思想で浄土宗を興隆されてきた。「雑業を棄てるために説き、念仏は立てるために説く」という見解である。親鸞聖人は「雑行を棄てて本願に帰す」といい、蓮如上人は「もうもの雑行をなげすめて、一心に弥陀に帰命す」といわれた。真宗門徒でありながら、私たちは、法然上人が、親鸞聖人が、そして蓮如上人が捨てられたものを拾い、法然上人が、親鸞聖人が、そして蓮如上人が大切にいただけたものを捨ててはいないだろうか。

原点に帰るべく「一人の念仏者の誕生」を願う、教団も寺院もそのためにこそあるのだということをあらためて確かめてまいりたい。

教団の動き

教学研究所

【12/25】

「教化伝道研修」第5期始まる

「宗門を担う人の誕生」を願うとする「教化伝道研修」の第五期が、十七教区から推薦された三十名の研修生を迎えて開始されました。十二月二日、御影堂での開講式では、研修生一同は御真影の前で、他者と共に教えをいただく仏弟子として学ぶことを宣誓しました。

「教化伝道研修」は、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌事業として始められた「教化特別研修生制度」を継承し、



開講式後の集合写真(御影堂前)

これまで、第一期から第四期までが修了しています。第五期は、第四期に引き続き、亀谷亨氏(北海道教区即信寺)を研修長とし、

全体テーマに「真宗同朋会運動の願いに学ぶ」を掲げて、二年間に全六回の研修を実施します(二〇二七年六月頃に修了予定)。

宣誓

私たち三十名は、「教化伝道研修」第五期研修生として、本日この場に身を置いていきます。

私たちは、この研修に参加するに当たって、送り出してくださった方々の願いを身に受けています。

そのかけられた願いと、学びたいという自らの意欲を忘れずに、他者と共に教えを頂く仏弟子として学ぶことを、親鸞聖人の御真影の御前にて誓います。

二〇二五年十二月二日

「教化伝道研修」第五期 研修生一同

第1回研修会

開講式に引き続き行われた第一回研修会は、「教化と伝道」をテーマに掲げ、初日には、亀谷亨研修長より「教化伝道研修の願い」と題した講義が行われました。続いて難波教行

教学研究所所員より発題がありました。二日目には、相馬豊修練道場長(金沢教区道因寺)より課題別講義「教化と伝道」が行われ、真宗大谷派の僧侶として、「私たちは



聖教の学び
(亀谷亨研修長)



課題別講義
(相馬豊修練道場長)

本主に救いを求めているのか」「私たちは一人ひとりとって報恩講とは何か」といった問いかけがなされました。三日目は、亀谷研修長より「聖教の学び」の講義が行われました。今期は「歎異抄」を中心に学ぶ予定です。今回は、前序にみられる「歎異の精神」を通し、聖人の信心と異なることを、一人の信心のみならず教団の問題とも重ねて『歎異抄』を確かめました。最終日には、各講義・座談を通して見出された課題について、全体討議を行いました。

教団の動き

「部落差別問題等に関する協議会」開催

十二月五日、「足舁陀羅」の課題について現在宗派を取り組んでいる施策と今後の展開について協議するため、「部落差別問題等に関する協議会」を開催しました。各教区の代表者計十八名が参加し、オンラインを併用して実施しました。

木越渉宗務総長は開会挨拶において、「仏説観無量寿経」を差別的に解釈し布教してきた僧侶の罪責の重さをあらためて押さえ直し、いわゆる「七項目の宗派施策」(本誌二〇一九



オンラインを併用して協議が行われた

次に、解放運動推進本部からは、二〇二三年度より実施し全教区で開催された説明会における意見の分析結果が報告されることがともに、二〇二六年度からは取り組みの軸足が教区・組に移行していくことが説明されま

した。その後、教区の取り組み実例について、岐阜高山教区から報告されました。四衢亮実行委員長と教区駐在教導から、二〇二四年度より教区教化委員会内に「足舁陀羅」問題に取り組み実行委員会」を設置した経緯や、事業計画の主要点などが説明され、学習テキスト「御同朋を生きる」の輪読を重視した教区・組の学習を進めていることが共有されました。また、解放運動推進本部からは現在準備を進めている学びのサポート方法として、課題を学ぶ音声付動画や、人権週間ギャラリー展パンフレットのリニューアルについて紹介がありました。

本廟部・研修部

〔12/20〕

真宗本廟 お煤払い

―500年以上続く歳末の伝統行事―

十二月二十日、御影堂と阿弥陀堂の一年に溜まった埃を払い出す、「お煤払い」が執り行われました。

「お煤払い」は毎年十二月二十日に行われる、蓮如上人の時代から五百年以上続く歳末の伝統行事。前日の十九日には仏具が下ろされ、御影が巻き納められ、阿弥陀堂須弥壇、御影堂厨子が紙帳で覆われます。当日は「名古屋教区尾張清浄講お煤払い奉仕団」を

はじめ、各地から集った四団体の「お煤払い奉仕団」や個人での奉仕団参加者に加え、京都光華中学・高等学校の生徒と教員二十六名も参加し、計約二百名で行われました。朝九時の開始時間になると、参加者は両手に専用の割竹を持ち、両堂の外陣から参詣席方向に向かって横一列に並び、掛け声の合図で一斉に割竹で畳を叩きながら前進。



割竹を使い埃を払い出す

叩き出されて舞い上がった埃を、大団扇で外へ扇ぎ出しました。埃を払い出した後には、畳の掃き掃除・拭き掃除が丁寧に行われました。清掃の後には、新たにお給仕を始めるための儀式である「御規式」が行われ、大谷裕新門が長柄帯を用いて紙帳に「寿」の字をなぞり、両堂で新年を迎える準備が整えられました。

組織部

〔11/5・6〕

第13回「坊守就任研修会」・坊守就任式」開催

―坊守34名が参加―

十一月五日から六日にかけて、研修道場・和敬堂を会場に「坊守就任研修会」が二泊二日の日程で開催されました。

今回で第十三回目を迎える本研修会には、佐賀枝夏文氏(学校法人真宗大谷学園専務理事)を講師に迎え、「つながり」そして、「結ばれる」世界」と題した講義が行われ、



佐賀枝氏による講義

【坊守就任式受式者】三十四名(敬称略・教区順)

教区	組	寺院教会名	参加者氏名
北海道教区	第四組	大願寺	北由香
北海道教区	第四組	極楽寺	巖城あこ
北海道教区	第十三組	照道寺	曾林美津美
北海道教区	第十三組	教信寺	若林百菜
北海道教区	第十三組	観照寺	宇都宮弥生
北海道教区	第十三組	淨明寺	藤井真貴子
北海道教区	第十三組	西法寺	佐々木莊子
北海道教区	第十三組	徳泉寺	岩森佳美
北海道教区	第十三組	龍王寺	森由美
北海道教区	第十三組	弘誓寺	黒川智子
北海道教区	第十三組	清琳寺	堀岡淳子
北海道教区	第十三組	浄土寺	大友朋子
北海道教区	第十三組	本浄寺	末井睦美
北海道教区	第十三組	敬榮寺	橋本紀子

九州教区	九州教区	九州教区	九州教区	九州教区	山陽四国教区	京都教区	名古屋教区	名古屋教区	岡崎教区	大垣教区	大垣教区	福井教区	福井教区	福井教区
第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第三組	第二組	第二組	第一組
西組	後組	後組	東組	東組	芸備組	長浜第十八組	第十五組	第十三組	第十一組	第十三組	第九組	第八組	第七組	第一組
光桂寺	光照寺	專精寺	蓮華寺	常善寺	德榮寺	了西寺	恩澤寺	正覺寺	金樹寺	應圓寺	妙嚴寺	蓮生寺	妙輪寺	淨勝寺
廣瀬文子	緒方佳世子	鷺司智子	藤島誠子	諏訪部万友美	三上暁子	本多祥子	後藤恵里	小山優子	足立香	佐々木民江	酒井まりえ	藤谷美香	廣瀬愛美	松原美佐恵

就任式で「誓いの言葉」を朗読

全国各地より坊守籍簿に登録されている坊守三十四名が参加しました。参加者は、講義や班での座談を通じ、坊守としてのこれからの歩みを確かめ合い、翌日の「坊守就任式」に向けた「誓いの言葉」の制作に励みました。研修会終了後、御影堂において執り行われた「坊守就任式」では、参加者による「誓いの言葉」が朗読され、その後、木越渉宗務総長より受式証が授けられました。

教団の動き

災害救援本部より

青森県東方沖を震源とする地震により
被害に遭われました皆様に、衷心より
お見舞い申し上げます。

12月8日に青森県東方沖で発生した地震により、東北教区内の
8カ寺より壁の剥落や墓石の倒壊等の被害報告が寄せられておりま
す(2025年12月15日現在)。

■「令和6年能登半島地震」 ボランティア支援センターのご案内

能登教務所に設置している「ボランティア支援センター」では、
宗派関係者のボランティア活動に対して、宿泊場所の提供・活動経
費の助成等の支援を行っています。

被災地域では息の長い支援を必要としています。能
登教区でのボランティア活動を希望される方は、ボラ
ンティア支援センターにお問い合わせください。

※宿泊・活動助成等の詳細はボランティア支援センターホ
ームページをご覧ください。

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町テ9-1【能登教務所内】
TEL: 070-1860-6010 (専用電話)
FAX: 0767-53-0057【能登教務所】
E-mail: nvs@higashihonganji.or.jp



ボランティア
支援センター
ホームページ

■救援金のお願い

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金の勧募
を行っております。
皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【令和6年能登半島地震指定救援金総額】

252,326,644円 (2026年1月5日現在)

※宗派救援金口座及び境内救援金箱に寄せられた救援金の総額

【救援金口座】 郵便振替口座番号
00920-3-203053

【加入者名】 真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

〈最新情報はこちら〉

宗派公式
ウェブサイト



宗派災害情報
公式X



- 八一〇名／十一月二十一日
〔研修〕
◇大谷中学・高等学校「京都」【吹奏楽部】
三十四名／十一月二十三日
◇真宗大谷派学校連合会結成六十周年記念
〔合同報恩講〕【全加盟校】
現地参加二九六名＋オンライン参加
／十一月二十五日
◇北海道大谷室蘭高等学校【二年生】
一三二名／十一月二十九日
- 五〇八名／十一月七日
〔参拝〕
◇京都光華女子大学【全学年】
五〇八名／十一月七日
◇大成中学・高等学校
【中学一年生、高校一・二年生】
一一〇名／十一月十二日
◇大谷中学・高等学校「京都」【保護者会】
- 二〇七名／十一月四日・六日
〔研修〕
◇豊田大谷高等学校【二年生】



大成中学・高等学校参拝式

関係学校が真宗本廟参拝・研修を 行う

十一月に真宗大谷派学校連合会加盟校による
研修・参拝が行われました。実施校は下記
のとおりです。

- 三十四名／十一月十三日
◇大谷中学・高等学校「京都」【仏教に学ぶ】
三十八名／十一月十三日
◇大谷中学・高等学校「京都」【美術】
二十名／十一月十三日
◇大谷中学・高等学校「京都」
【中学全学年・高校二年生】

今回の「合同報恩講」は、一九六五年に結
成された当会が、二〇二五年に結成六十周年
を迎えるにあたり、加盟校の教職員・学生・
生徒・児童が、同じ時間を共有することを通
して、同じ願いのもとに集う学校連合会の一
員であることを再認識し、加盟校間のつな
がりをより深める機会となることを願いと
しています。

当日は、「正信讚」による勸行の後、木越渉
宗務総長から挨拶があり、「加盟校に在学し
ている間、親鸞聖人の言葉を生涯の宝として
いけるような学びをしていただきたい」と
激励の言葉が贈られました。引き続き、一
楽真氏(真宗大谷派学校連合会会長)から、
「加盟校に在籍する総勢二万五千名の人た
ち



一楽会長の挨拶



全国の加盟校にメッセージを送る現地参加者

と共に親鸞聖人に縁のある学校で学
んでいるということを考える機会と
なることを願う」と挨拶がありました。
その後、各校の卒業生・在校生から
六十周年をお祝いするメッセージをま
とめた記念動画を視聴し、各学校へか
けられた願いと全国の「大谷」の名の
もとに集う仲間を知る機会となりました。
最後に、大谷ホルルの現地参加者か
ら、オンラインで視聴している加盟校
に向けて、「ありがとう」とメッセー
ジを贈り、「合同報恩講」は終了しま
した。

教団の動き

お知らせ

[東北教区]

保養事業及び 「子どもたちを放射能からまもろう基金」の 取り扱いについて

東北教区では、教区改編にあたり東日本大震災復興本部及び東北教区東日本大震災復興支援特別会計を設置し、東日本大震災・福島第一原子力発電所事故以降、旧仙台教区に設けられた「子どもたちを放射能からまもろう基金」を引き継ぎ、事業を行ってまいりました。

復興支援活動の一つである保養事業について、震災から15年が経過する中、福島県内の居住地域の放射線量も徐々に低下し、また当時子どもたちも成長するなど、様々な変化がありました。これらの状況から事業の参加者も「保養」から交流の場を求めて参加される方が主となっています。

この現状を受けて、復興本部において事業の今後のあり方について協議を重ねた結果、保養事業から交流支援を主とした事業へあらためることを決定し、事業の原資としてきた「子どもたちを放射能からまもろう基金」についても、前年度末時点の保管金額20,960,550円を、その願いを包括する東北教区東日本大震災復興支援特別会計に繰り入れることといたしました。

復興本部は今後も、必要な復興支援活動と東日本大震災を継承する事業を継続してまいります。長年にわたり多大なるご支援を賜っている全国の皆様に、あらためて御礼を申しあげ、報告いたします。

東北教区東日本大震災復興本部



災害救援本部より

わすれな かね 勿忘の鐘-2026-

東日本大震災を心に刻み、犠牲者に思いを馳せ、
今後も復興と支援の思いをつなぐ。



日時：2026年3月11日(水) 午後2時46分

【勿忘の鐘】



本稱寺 (岩手県陸前高田市)



名古屋別院

あなたのお寺に鐘はありますか。梵鐘でも喚鐘でもいい。お内仏なら鈴でもいい。3月11日の同じ時刻に、その音に耳を傾けてください。それは鎮魂の音でも慰霊の音でもありません。私たちに霊を慰める力はないから、私たちに魂を鎮める力はないから。ただ鐘の音が消えるまでの僅かなひととき、うつろいゆく時に抗うように憶念の一瞬を共有しましょう。

東北教区では「東日本大震災を心に刻み、犠牲者を悼み、今後も復興と支援の思いを繋げていきたい」という願いのもと、震災後に土中から発見された陸前高田市本稱寺の梵鐘とともに、全国で同時刻（3月11日午後2時46分）に鐘をつき法要を勤める呼び掛けを続けてきました。

今日、気候変動により、過去に経験したことのない大規模災害がいつ身近に起こってもおかしくない現状があります。そして、世界中で毎年のように風水害や大きな地震が発生しています。しかし、私たちはそれらを真に自らの身に起こり得ることとして受け止めているのでしょうか。

あの日から15年…。あらためて呼び掛けの主旨にご賛同いただき、それぞれの今いる場所で勿忘の鐘の衆会をお勤めいただきますようご案内いたします。

東北教区東日本大震災復興本部

東北教区「勿忘の鐘」特設サイトはこちら。
あなたのお寺でも「勿忘の鐘」の衆会をお勤めいたしましょう。
<http://www.touhokukyoku.jp/311/>



※「勿忘の鐘」を開催される寺院を特設サイトにてご紹介いたします。
開催されるご寺院は、東北教務所(TEL: 022-297-2824)または上記QRコードよりぜひご連絡ください。

月刊 どうぼう

同朋

仏教がみちびく、あらたな人生

まずは、お寺で1冊ご購入ください！
◇ご門徒へのプレゼント、法要・行事の記念品
としてもご利用ください。

「同朋」は生活の視点から、
浄土真宗に親しむための月刊誌です

2月号特集 「男性」を生きることのこれから

〈対談〉
男性たちの特権を解体して、各々で平等を志向すること。
／周司あきら（作家、主夫）×宇治和貴（筑紫女学大学教授）
「男だって大変だ」っていう、幼稚さから抜け出そう。
／ダブルダイナマイト [てらさわホーク（ライター）× 大山くまお（ライター・編集者）]

〈寄稿〉
男性の「生きづらさ」を問う／太田啓子（弁護士）
住職と主夫を往来する／高名等（真宗大谷派僧侶）
男性に幸福な孤独はあるか／河野真太郎（専修大学教授）
参政党的男らしさから学ぶことがあるとすれば
／福永玄弥（東京大学准教授）

巻頭インタビュー 森田真生（独立研究者）



魅力ある連載

土井善晴の
お斎の風味をたずねて

哲学者と僧侶
「私」をめぐる往復書簡

地獄・極楽を読み解く
新解「往生要集」

後生の一大事を心にかけて
ニューヨークから開教便り

料理研究家 土井善晴

哲学者 谷川嘉浩

大谷大学名誉教授 ロバート F. ロース

僧侶 名倉 幹

対話 生きづらいこの世界でも

月刊『同朋』の電子書籍について
月刊『同朋』を電子書籍でも購読いただけるよう、準備を進めております。当初の予定より配信が遅れましたこと、お詫び申し上げます。配信時期は決まり次第、あらためてお伝えいたしますので、しばらくお待ちください。

◆FAX・電話・ハガキ・メール、またはオンラインショップ
でお申し込みいただけます。
◆代金は、「同朋」と共に送付いたします振込用紙にて、
お支払いください。
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
東本願寺出版「同朋」係
TEL: 075-371-9189 FAX: 075-371-9211
メール: books@higashihonganji.or.jp

●毎月1日発行 ●購読料 年間 4,400円（税込・送料込） 1冊 440円（税込・送料別）
●A4判 フルカラー60頁 2025年7月号から価格改定

教行信証（坂東本）カラー影印本 申込受付中

このたび、『坂東本 教行信証』カラー影印縮刷本（東本願寺出版）の発行に際して、宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として2005年に製作された、高精細カラー印刷を用いた『教行信証（坂東本）』カラー影印本（原寸大）を、あらためてお求めになる声が寄せられました。

そこで、その声にお応えして本山で大切に保管しておりました最後の30部を頒布いたします。

これが最後の機会となりますので、ぜひともお申込みください。

残10部
(12月25日現在)



「顕浄土真實教行證文類（坂東本）」
カラー影印本 全六冊
美濃紙（機械漉き）
高精細オフセット印刷（八色刷）
三穴和綴・上製桐箱・解説書付

受付期間：2025年10月1日から2026年6月30日まで【申込先着順】

懇 志 金：580,000円以上

申込方法：①お名前、ご住所、お電話番号をFAXまたはメールにて送信ください。なお、
件名として「教行信証（坂東本）カラー影印本申込」と記載ください。

②財務部から振込先等ご案内をお送りいたします。

③振込確認後、送付いたします。

注意事項：領収書は発行いたしませんのでご了承ください。

金融機関発行の振込明細をもって領収にかえさせていただきます。

お届けまでに2ヵ月ほどお日にちをいただく場合がございますことご容赦ください。

【お問い合わせ】

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754 真宗大谷派宗務所 財務部
TEL: 075-371-9186 FAX: 075-371-9195 mail: zaimu@higashihonganji.or.jp

日程 4月2日(木)				
7時	晨朝(同朋唱和)	約40分	9時30分 全戦没者追弔法会 【テーマ】 日々の暮らしに紡ぐ念仏者の平和運動 戦争でいのちを奪われた方々を憶念し、兵戈無用(仏説無量寿経)の世界を願う法要です。 【追弔の偈】 朗読 大谷あすな氏・猫本冠氏 (帯広大谷高等学校放送局員)	7時
10時	法要(案)	約1時間		10時
11時20分	記念講演 【講師】 蓮岡修氏 (京都教区・ 絵本専門店「きんだあらんど」店主)	約1時間		11時20分
14時	引続 帰敬式 シンポジウム 帯広大谷高等学校放送局が作成した、非戦平和に関する映像作品を視聴し、蓮岡修氏と帯広大谷高等学校放送局員による対談を行います。			


日程 4月3日(金)				
7時	晨朝(同朋唱和)	約40分	10時20分 法話 佐賀枝立氏(富山教区) ※手話通訳があります。	7時
10時20分	御文・法話			10時20分
11時	相続講員物故者追弔会兼 帰敬式受式物故者追弔会(案) 約1時間 亡くなられた方をご縁に、浄土真宗の教えに共に出遇うことを願いとする法要です。			11時
引続	帰敬式			引続

● 帰敬式(おかみそり)

【受付】 1日・2日は9時30分まで
3日は10時10分まで

【場所】 御影堂 礼金 1万円
(20歳以下は5,000円)
〈本廟部参拝接待所 075-13719210〉

春の涉成園と粥膳				
涉成園において、「春の涉成園と粥膳」を開催いたします。				
粥膳は、真宗本廟におそなえしたお仏供(お仏飯)のお下がりを用いて調理しております。				
期 間	4月1日(水)～4月3日(金)			
時 間	1回目11時40分／2回目12時40分 ※開始時間に遅れた場合、お席の確保ができない場合があります。			
会 場	涉成園(釈迦堂) 閼風亭			
受 付	涉成園入口すぐ 当日9時より			
【真加金】	3,000円(当日、受付にてお納めください) ※庭園維持寄付金を含みます。			
【内 容】	おかゆ・炊き物・小鉢・香の物・菓子			
【定 員】	各回80名 ※定員になり次第、締め切ります。			
【申込締切】	【団体参拝】 3月13日(金)まで 【粥膳のみ】 希望日の2日前まで (本廟部参拝接待所 075-13719210) ※人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。予めご了承ください。			



粥膳



— 本願念仏の教えをいただく御仏事 —

真宗本廟 春の法要

《期日》4月1日(水)～3日(金)

4月のはじめに勤まる、聖徳太子・七高僧をはじめ本願念仏のみ教えを伝えられた師主知識の恩徳を讃える「師徳奉讃法要」、親鸞聖人のご生誕をよろこぶ「親鸞聖人御誕生会」、歴史に学び平和の願いを確かめる「全戦没者追弔法会」などの法要を「春の法要」と称しております。

ぜひ皆様お誘い合わせのうえご参拝ください。

※掲載内容から変更される場合があります。

※晨朝は阿弥陀堂・御影堂の順に勤まります。

※師徳奉讃法要は阿弥陀堂、他は御影堂で勤まります。

※法要前にはご挨拶がございますので、参拝の方は5分前には入堂をお願いします。

Youtube「真宗大谷派公式チャンネル」において、春の法要のライブ配信を実施します。ぜひご覧ください。

Youtube 真宗大谷派 公式 検索

日程 4月1日(水)				
7時	晨朝(同朋唱和)	約40分	9時30分 法話 藤場芳子氏(金沢教区)	7時
10時	師徳奉讃法要(案)「阿弥陀堂」約1時間 親鸞聖人が讃嘆する聖徳太子・七高僧をはじめ、本願念仏の教えを伝えられた師主知識の恩徳を奉讃する法要です。			10時
引続	帰敬式			引続
13時20分	親鸞聖人御誕生会 記念講演 約30分 【講師】 酒井義一氏 (東京教区春明寺住職・ 青少年センター研究員)		14時	13時20分
14時	【議題】 音を通して親鸞さまの心につれる 親鸞聖人御誕生会(音楽法要) 約50分 【指揮】 錦木功樹氏 (同朋高等学校音楽科主任教師) 【電子オルガン】 魯あす香氏 (ヤマハ音楽教育システム講師) 【ティンパニ】 高藤摩紀氏 (名古屋音楽大学教授)			14時
	【合唱】 真宗大谷派合唱連盟 他 宗祖親鸞聖人の御誕生と、教えに遇い得た喜びを、音の荘厳をもって表現する音楽法要です。			

- (2) 駐車ステッカーは、表示内容が確認できるよう、バスの場合は車両の前面（フロントガラス）及び側面（ガラス面）に、乗用車の場合はダッシュボードに必ず貼付ください。ステッカーの掲示がない場合は駐車できません。
- (3) 駐車場では係員が誘導・整理を行います。乗降場所については、係員の指示に従ってください。

3 春の渉成園と粥膳について

「春の法要」期間中、真宗門徒が大切にしてきた「お斎」を、桜咲く渉成園で「粥膳」としてご提供いたします。

真宗本廟におそなえされたお供儀（お仏飯）のお下がりで作られた「菜の花粥」、渉成園の梅を使った梅干し等がつく本格的なお膳です。渉成園の通常非公開の建物（閨風亭）で、庭園の春の景色を楽しみながら、ぜひお召し上がりください。



粥膳（イメージ）

- (1) 期間・時間
4月1日(水)～3日(金)
1回目11時40分～／2回目12時40分～ ※各回80名定員
- (2) 会 場 渉成園（枳殻邸）閨風亭
- (3) 冥 加 金 3,000円 ※庭園維持寄付金を含みます。（当日、会場受付でお納めください）
- (4) 内 容 おかゆ・炊き物・小鉢・香の物・菓子
- (5) 注意事項
①人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。予めご了承ください。
②もれなく庭を眺望できるよう、座机にてお召し上がりいただきます。

4 昼食弁当について

期間中に参拝された方々への昼食として、お弁当（1食2,000円、お茶付）をご用意いたします。会場は「しんらん交流館」または「和敬堂」（最大70席）です。

ご希望の場合は、5名からお申し込みください。なお、受け入れ人数に限りがありますので、定員になり次第締め切ります。

- (1) 期 間 4月1日(水)～3日(金) 11時～13時
- (2) 定 員 各回70名 ※4月1日は20名です
- (3) 会 場 しんらん交流館1階すみれの間（定員20名）・和敬堂2階講義室（定員50名）

	1日(水)	2日(木)	3日(金)
しんらん交流館	○	○	○
和 敬 堂	×	○	○

- (4) 料 金 2,000円 ※各団体引率責任者から当日現金にてお納めください。
（振込を希望される方は事前にご相談ください。）

- (5) 注意事項
※会場は、時間・人数を調整して振り分けますのでご指定いただけません。
※申込時に会場をお伝えしますが、都合により、その後に会場を変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

本廟部・参拝接待所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9210 FAX.075-371-9204

2026年「春の法要」参拝のご案内

このたび、4月1日から4月3日にかけて、2026年「春の法要」を、下記のとおり厳修いたします。つきましては、有縁の方々をお誘い合わせの上、ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

【申込期間】 2026年2月1日(日)午前9時から3月13日(金)午後5時まで

※受付は各日午前9時から午後5時までです。

※粥膳・お弁当（次頁参照）を申し込み場合、食数に限りがありますのでお早めにご連絡ください。定員になり次第締め切ります。

【申込期間】 下記のいずれかの方法で本廟部参拝接待所へ直接お申し込みください。

【TEL】 申込要項の内容をお伝えください。

【FAX】 宗派ウェブサイトより申込書をダウンロードしてご利用ください。

【WEB】 宗派ウェブサイトの特設フォームでお申し込みください。

お申し込みフォームはこちら➡



※参拝のお申し込みをいただきました団体または個人には、春の法要参拝の記念品をご用意いたしますので、公共交通機関でお越しの方や少人数の方、お一人からでもぜひお申し込みください。

※バス・乗用車の駐車をご希望される場合は必ずお申し込みが必要となります。

【参拝申込要項】

1 申し込みに際して

(1) 申し込み時にお知らせいただく必要な事項

- ①参拝日 ②参拝される法要（〔例〕日中） ③到着時刻・出発時刻 ④団体・個人名称
⑤引率責任者氏名・連絡先電話番号 ⑥参拝人数 ⑦粥膳申込の有無 ⑧お弁当申込の有無 ⑨帰散式受式の有無 ⑩渉成園参観の有無 ⑪交通手段（バス・乗用車台数） ⑫大谷祖廟参拝の有無
- (2) 申し込み後に、到着・出発時刻、参拝人数、バス・乗用車駐車等に変更が生じた場合は、必ず本廟部参拝接待所にご連絡ください。
- (3) 3月中旬を目途に、引率責任者へ案内状・参拝確認書・駐車ステッカー等を送付いたします。※申し込み期間後に変更された内容については参拝確認書に反映されませんので、ご承知おきください。

2 バス・乗用車の駐車について

- (1) 団体・個人参拝申し込みをされたバス・乗用車のみ、指定場所に駐車できます。駐車を希望する場合は必ず申し込みをしてください。また、申し込まれた団体・個人には駐車ステッカーを送付します。

本廟部 式務所

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9188 FAX.075-371-9205

春の法要出仕要項

春の法要に出仕を希望される方は、下記要項をご参照の上、別紙出仕願をご提出ください。

1 出仕願について

- (1) 出仕を希望される方は、本誌巻末綴じ込み、もしくは右記よりダウンロードいただいた出仕願を所轄の教務所を経由して本廟部(式務所)に提出してください〔3月1日(日)必着〕。なお、願書が不足の場合は最寄りの教務所へお問い合わせください。
- (2) **法臈加算のための出仕証明が必要な方は「有」に○を、必要のない方は「無」に○をしてください。**
- (3) 法臈加算申請のための出仕証明書は、予定されている出仕の最後にご本人に手交いたしますので、必ずお受け取りの上お帰りください。



2 出仕について

- (1) 改着場所 男性：式務所1階南大広間 女性：式務所1階北小間
※改着場所にて装束着用後、出仕控室(2階北大広間)で出仕点検を受けてください。
- (2) 制限・集合時刻・装束

	法要名称	法要制限	集合時刻	装束
4月1日	師徳奉讃法要	10時	9時	裳附・五条袈裟・差貫
	親鸞聖人御誕生会 (音楽法要)	14時	13時	
2日	全戦没者追弔法会	10時	9時	
3日	相統講員物故者追弔会兼 帰敬式受式物故者追弔会	11時	10時	

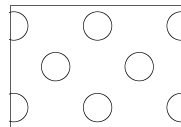
※4月1日から3日までの晨朝への出仕は法臈加算対象にはなりませんが、別紙出仕願に記載ください。

	法要名称	法要制限	集合時刻	装束
4月1日～3日	晨朝	7時	6時	直綴・五条袈裟

3 装束について 出仕の際には、下記制限をご留意いただき、正規のものをご準備ください。

《五条袈裟について》

- ①地合は、堅地、綾地及び平織とする。
- ②色目は、萌黄、紫、その他許可された色(正銀色、長春色など)一色とする。
- ③文様は、無地とする。ただし、金入に限り、平金一色を用いることができる。
- ④紋径は、7種(センチメートル)乃至9種とする。
- ⑤2種類以上の紋を使用することはできない。
- ⑥紋を重ねたり、連続紋とすることはできない。また、いわゆる釜抜、一ツ抜紋、居並びとすることはできない。ただし、褒賞衣体を除く。
- ⑦別に許可せられたものは、小紋とすることができる。この場合、八藤紋に限ることとし、④の制限を除く。
- ⑧寺紋・家紋は、紋白に限る。



釜抜(一ツ抜)

《白服・白足袋等》

- ①白服は、皆白のこと。綸子、唐綸子、縮緬等は着用できない。
- ②白襪子又は白足袋着用のこと。ただし、足袋は小鉤のあるものに限る。
- ③帯は、白帯に限る。

4 法臈加算手続きについて

法臈加算を受けるためには、出仕願(裏面)の要項をご参照の上、別途教務所へ申請ください。

5 その他

- (1) 期間中は、自家用車の境内での駐車はできません。
- (2) ご不明な点は、教務所までお問い合わせください。

5 帰敬式について

- (1) 帰敬式は、1日の師徳奉讃法要後、2日の全戦没者追弔法会記念講演後、御影堂において執行されます。3日の相統講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会後は、御影堂において大谷暢裕門首により執行されます。
- (2) 住職選定法名及び団体による受式については、「帰敬式受式者届」を受式日の1ヵ月前までに直接、本廟部参拝接待所へご提出ください。
- (3) 受式当日、本廟部参拝接待所で、1日・2日は9時30分まで、3日は10時10分までに受付をお済ませください。

6 注意事項

- (1) 各法要の開式時間にご留意ください。
- (2) 参拝時に体調を崩された場合は、お近くのスタッフにお声がけください。
- (3) 法要中の写真や動画の撮影はご遠慮ください。
- (4) 時間に余裕を持った計画を立てられるようお願いいたします。
- (5) ご参拝の際には、ご門徒に肩衣(畳肩衣・略肩衣)を着用いただくよう奨励ください。
- (6) 真宗本廟収骨・永代経・御影堂読経はお取り扱いがありません。
※参拝接待所(地下仏間)での読経はお取り扱いがあります。
- (7) 法要期間中、団体参拝等での両堂・諸殿のご案内はできません。
- (8) 法要途中での退席はなさないようお願いします。
- (9) 渉成園にもぜひご参観ください。(4月の参観時間は9時～17時 ※16時30分受付終了)

【お問い合わせ】 本廟部参拝接待所 TEL:075-371-9210(9時～17時) FAX:075-371-9204
Email: honbyo@higashihonganji.or.jp
真宗大谷派ウェブサイト <https://www.higashihonganji.or.jp/>

渉成園のご案内

四季折々に美しさを見せる渉成園。
春の法要の季節には園内に咲きほこる桜をご覧ください。

御正忌報恩講のご参拝とあわせて、渉成園にもぜひご参観ください。



渉成園について、詳しくはこちらをご覧ください→



渉成園Instagram→



も、「いのち」の感覚にとつては勝ち負けはありません。自分の人生をきちんと生きたことに、他の人と比べて何か劣っているとか優れているということはありません。私が生きたことは今この世界全部を生きたことと一つです。だから自分の人生を精一杯生きると、その人生が造り出すものが私がここで生きたということになります。

それぞれに色々な世界があります。それでも、同じ一つの世界を生きているんです。色々な人と出会うと、自分の見ている世界だけでなく他の人が見ている世界によって、どんな世界が豊かになっていくんです。

人は自分の色で世界を見ています。例えば僕が赤色でこの世界を見ているとします。そうすると赤い色のものは見えません。でも、もう一人別の人が緑色で見るとしたら、緑の光によって、自分が見えなかった赤い色が見えてくるでしょう。もつと違う人が見たら、その人の色の光で自分に見えなかった世界がどんどん現れてくるでしょう。そうすると世界はどんどん豊かになり、どんどん綺麗になっていく。お浄土というのは、とっても綺麗な世界なんです。それは色々な「いのち」の光によって世界が映し出されることで、世界そのも

の「いのち」が光り輝き始めるからです。

そういう世界が自分が生きている世界だと感じた時に、生きていることが本当の喜びとして感じられるはずです。その時に自分の「いのち」を思い出したら、その「いのち」に立って何かをしていることが、自分に「生きている」と感じさせてくれるでしょう。

「生きている」と知ることは、本当は喜びなんです。生きていることを知らないで生きていると、後に何も残らないから疲れるだけで虚しくなります。でも、生きていることを知ると、きちんとした跡が残ります。

例えば絵を描くのが好きな人だったら、自分の思いを一生懸命描いたら、自分の思いと自分が一つになって、私は生きていると感じると思います。その時に、絵を上手に描く必要は全くありません。今は絵を描いたら上手か下手かといって評価されてしまうから、絵が嫌いになってしまう子が多いようです。上手い子は、もっと上手に描かなくちゃいけないと思い、自分の描きたいことが描けなくなってしまう。

自分の描きたいものを描きたいように描くのが絵です。でも、描きたないように描こうと思ってもなかなか

うまうはいきません。だから自分の気持ちをも本当に上手に描くための勉強は必要です。それでみんな上手に描こうとします。でも大人も子どもも、自分の気持ちをきちんと表現できるような絵を描かなければなりません。

運動や勉強もそうです。上手にする必要はありません。自分の気持ちを表せばいいんです。誰かに見てもらって、比べて、自分の方が上手だろうと思うから、生きていることから離れていくのです。仕事もそうです。とりあえず給料がいいからという形で仕事を選んでしまうと、一生を台無しにします。もちろん食べていけないと困るので、ある程度お金がいるかもしれない。でも、それ以上に自分が働くことは自分の人生そのものを表現するためだから、なんでもかんでもお金にしたらあかんです。

人の心だってお金にはなりません。だから、お金では動かないはずなのに、人の心じゃなくなればお金で動くのです。今、みんながお金で動いているのは、人の心をなくしているからです。そういう時代を生きているのは本当に大変だと思うけど、どんなに大変な時代でも、自分が生きていることだけは誰も奪うことができません。

できません。自分が生きていることを自分で見つけて、それが自分の一番中心になって、それを信じるということができれば、あなたたちは力を持つことができます。誰がなんといっても、私がここに生きていることを誰も奪えないからです。そうやってその自分に自信を持った人のものを取ることにはできません。人の「いのち」は奪うことはできません。人の「いのち」は奪うことはできません。その時に生きていることは喜びに変わるはずです。そうやって生きていることを喜べるようになっていくと、世界は変わるのだと思います。子どもたちは、もっと楽しく生きられるはずですよ。

大人になることは一人になることです。一人になることは怖いけれど、一人になるということは自分の世界を造っていくということです。これは素晴らしいことです。新しく自分が自分として生きていける世界ができていくのですから。それを自分で造っていくことができますのだから。その素晴らしいことを忘れないでねば、目の前にあらわれてくる色々なこともきちんと受け止めて生きていくようになるんだと、僕はそう思っています。

児童教化のページ

シリーズ 真宗大谷派における児童教化
—子どもたちとともに、今までもそしてこれからも—

ち か い

- 一、私たちは、仏の子どもになります。
- 一、私たちは、正しいおしえをききます。
- 一、私たちは、みんな仲よくいたします。

大谷派兒童教化連盟

597

今、みんな生きていても結果がないと確かなものだと思えなくなっています。その結果とは目に見えないのだけです。けれど、目に見えない確かなものがあるのです。そのためには結果ではなくて、自分が生きていることと何かしていることが一緒にいられなければならないません。生きていることとすることが一緒にいることがあるのです。

生きていることとすることが一緒にあった時の感覚は楽しい。楽しいと面白いということとは違います。面白いのは目の前にあるもの、楽しいは自分の心の中にあるものです。だから、目の前にあるものに心が移って自分から心がなくなつた時に面白いと言います。楽しい時は自分の心の中に楽しさが残ります。

でも、楽しさだけでなく悲しみも自分の中に残ります。楽しいとか悲

しいとか、苦しいとか嬉しいという心は、全部「いのち」と一つになっている感情です。その心を大切にしていくと、その「いのち」と一緒に経験していることが、くり返し自分の中に起こり続けていく。その感覚を忘れなければ、生きていることが喜びに変わります。

仏教はその喜びによって、生きていることが楽しいということを教えています。苦しんでも悲しくても、生きていることは楽しいということです。

お浄土のことを極楽といいますが、「極」は究極の、「楽」は楽しい、これ以上ない楽しみのことを極楽といっています。極楽に行ったらさぞかし面白いというようにことは何一つもなくても、なぜ楽しいのかといったみんなが生きていることを喜んでいくからです。その喜びの中で出会うことができるから楽しいです。辛

あちやんが亡くなったという人がいるかも知れません。中には早くお父さんやお母さんを亡くした人がいるかも知れません。別れは悲しいけれども、人生にはそういう別れが必ずあります。でもそこに「いのち」の出会いがあれば、それは喜びに変わるのです。そういう「いのち」と一緒になった喜びを知った時に、人間が人間として生きられるようになるということを観望聖人が教えてくれています。

喜びのないところでは、人間は人間になれません。人間でなくなると競争に勝つことが一番嬉しい勝ちな負けの世界を生きていくことになってしまいます。勝ち負けの世界がどんどん広がっていくと、国と国との戦いになり戦争になってしまいます。勝ち負けにならなければ戦争にはなりません。どんな人生であって

第35回同朋ジュニア大会 おはなし②

山陽四国教区第7組光明寺・
梶原敬一
姫路第一病院小児科部長

2025年8月1日から4日にかけて、「第35回同朋ジュニア大会（テーマ：正義×正義）」が開催されました。前回に引き続き、講師の梶原敬一氏のお話は（要旨）を掲載します。

いこともいっぱいあるけど、辛くても生きていることをみんなが喜んでると、そこで出会う時には「いのち」が本當の意味で喜ぶからです。いくら面白いところで集まっても「いのち」が出会わなかったら虚しいだけなんです。「いのち」が出会ったところには、悲しいことや苦しいことがあっても喜びがあります。

あちやんが亡くなったという人がいるかもしれない。中には早くお父さんやお母さんを亡くした人がいるかもしれない。別れは悲しいけれども、人生にはそういう別れが必ずあります。でもそこに「いのち」の出会いがあれば、それは喜びに変わるのです。そういう「いのち」と一緒にのった喜びを知った時に、人間が人間として生きられるようになるということを親鸞聖人が教えてくれています。

Be Real 大谷大学

寄りそう知性



JR京都駅から 約13分 ▶ 北大路駅 徒歩0分!
地下鉄烏丸線にて 6番出口から



文学部

仏教学科
現代仏教コース
宗教思想コース
思想探究コース
現代臨床コース
国際コース

哲学科

西洋哲学・日本思想コース
心理学・人間関係学コース
倫理学・社会思想コース
宗教学・死生学コース

歴史学科

日本史コース
世界史コース
歴史ミュージアムコース
京都探究コース
文学科
言語文化コース
現代文芸コース

社会学部

現代社会学科
現代社会学コース
コミュニティデザイン学科
地域政策学コース
情報メディアコース
社会福祉学コース

教育学部

教育学科
初等教育コース
教職教育専攻
幼児教育コース

国際学部

国際文化学科
英語コミュニケーションコース
欧米文化コース
韓国・朝鮮文化コース
中国語文化コース
京都文化学科

※2027年4月開設予定(仮称)、設置構想中。計画は予定であり、変更することがあります。

2026年度 大谷大学入学試験

一般入試[第2期] 2月4日(水) 出願開始!

出願期間 2月4日(水)~2月18日(水)

※締切日消印有効

試験日 2月26日(木)・2月27日(金)

合格発表日 3月5日(木)

一般入試[第2期]のポイント!

- 1回の受験で学部を問わず2学科(教育学部は各コースを学科とみなす)まで併願できます
- 複数日程受験の場合、各教科それぞれの最高点の合計点で判定します(ハイスコア方式)
- 京都(本学試験場)以外に彦根、大阪にも学外試験場を設置します



入学試験の詳細や
資料請求はこちらから▶



〒603-8143 京都市北区小山上総町 入学センター
TEL:075-411-8114 FAX: 075-411-8160
E-mail: nyushi-c@sec.otani.ac.jp



大学HPはこちらからご覧になれます▶



念珠 東本願寺前 製造 北川与三兵衛商店

昔から良品安価で御信用いただいて居る

念珠 販売 製造 北川与三兵衛商店

〒600-1人至 京都市下京区下珠数屋町通烏丸東入

電話 〇七五-一三七-一五五六番

FAX 〇七五-一三五-二一三六番

御法要式用 御披露用 結婚祝用 内仏打敷、中啓 散華焼香 経本仏具 其他仏様用百貨

弊店は真宗正式念珠を代々伝承製作の老舗

民藝 他力の美 太田浩史 著

民藝の美、それは他力の美、美しくしかないもの。

若松英輔氏推薦

民藝とゆかりの深い富山県南砺市に生まれ育った太田浩史氏が、柳宗悦をはじめ民藝運動に参加した様々な人物のエピソードも交えた29のエッセイで、「他力の美」である民藝の世界を案内する一冊。

A5変形判/オールカラー・96頁 定価: 2,200円(税込)

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

東本願寺出版 詳しい書籍情報・試し読みは 東本願寺出版 検索

〒600-8506 京都市下京区烏丸通七条上る TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

愛知県 長泉寺様 本堂屋根改修工事(チタンカナメ段付本瓦葺き)

想いを匠技でかたちにする

カナメの社寺建築

株式会社 カナメ

社寺新築・改修工事
チタン屋根/地震台風対策
太陽光発電など

本社
栃木県宇都宮市平出工業団地38-52
TEL.028-663-6300

名古屋支店
TEL.0586-71-2882

岡山支店
TEL.086-245-2541

ものづくり日本人賞受賞 (経済産業大臣賞) 受賞(チタンカナメ段付本瓦葺き)

GOOD DESIGN 賞 カナメチタン段付本瓦葺き

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

無料でお見積もりいたします

刺繍打敷の修復

和光舎

だからできる修復

職人技

今じかでない

年平均160枚の刺繍打敷修理の実績

お問い合わせは 御法衣・御装束・打敷などの丸洗い・修理・リフォーム

〒612-8081 京都市伏見区新町三丁目487
TEL 075-612-7988 FAX 075-612-5760

0120-45-4435

http://www.wakohsha.com

株式会社和光舎

新案 須弥盛 (オリジナル商品)

杉盛に簡単に組替えられます

新案須弥盛の特徴

「新案須弥盛」は、お華束を須弥型や杉盛に盛るための仏具です。「新案須弥盛」は芯棒を中心に食品サンプルと同じ素材で出来た餅板を重ねて出来ていますので、間にお餅を挟んだりしても違和感がありません。どこの部分までを仏具として使用されても、そのすべての使い方に対処出来るように設計されています。

「新案 須弥盛」の詳細は「京仏具犬塚ホームページ」でどうぞ

御読みの京仏具を真心こめてつくる店

京仏具犬塚

0300-8150 京都市下京区東洞院通上珠数屋町角
075-351-6553 FAX 075-341-0414
御連絡はフリーダイヤル 0120-20-6553 かどうか



同朋大学

～共なるいのちを生きる～

2026年度 入学者選抜試験日程

<文学部・社会福祉学部>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜 1期(C方式)	1月14日(水)～2月2日(月)[消印有効] 〈窓口受付:2月3日(火) 10:00～16:00〉	2月7日(土)	2月13日(金)
一般選抜 2期	2月2日(月)～2月17日(火)[消印有効] 〈窓口受付:2月18日(水) 10:00～16:00〉	2月21日(土)	2月27日(金)
一般選抜 3期	2月9日(月)～3月10日(火)[消印有効] 〈窓口受付:3月11日(水) 10:00～16:00〉	3月14日(土)	3月17日(火)
大学入学共通テスト 利用選抜(中期・後期)	2月2日(月)～2月17日(火)[消印有効] 〈窓口受付:2月18日(水) 10:00～16:00〉 2月24日(火)～3月10日(火)[消印有効] 〈窓口受付:3月11日(水) 10:00～16:00〉	大学入学 共通テストの 得点のみで 判定	2月27日(金) 3月17日(火)

<別科 仏教専修>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
別科選抜2期	2月9日(月)～3月4日(水)[消印有効] 〈窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00〉	3月14日(土)	3月17日(火)

<人間学研究科 仏教人間学専攻【仏教文化分野 博士前期課程】【人間福祉分野 博士前期課程】>

選抜試験	出願期間	試験日	合格発表
大学院選抜2期	1月14日(水)～1月28日(水)[消印有効] 〈窓口受付:1月29日(木) 10:00～16:00〉	2月7日(土)	2月13日(金)
大学院選抜3期※	2月20日(金)～3月4日(水)[消印有効] 〈窓口受付:3月5日(木) 10:00～16:00〉	3月14日(土)	3月17日(火)

※仏教文化分野、人間福祉分野のみ。入試状況により、臨床心理分野も3期を実施する場合があります。

2025年度 同朋フォーラム兼同窓会 第40回文化講演会

- 講題 イルカとパンダの子育てにみる人間の社会性発達のヒント
- 講演 13:40～ 熊川 智子氏 日時 2026年2月15日(日) 入場料 無料
(アドベンチャーワールド飼育員) 13:30～15:30 (13:00受付開始)
- 14:25～ 森 唯友氏 会場 同朋大学 成徳館5階 J502教室
(南知多ビーチャンド飼育員)

参加申込: WEBフォーム (<https://forms.gle/CgHDBdoKpNgmJXP9>) 電話(052-411-1491) メール(fukushi1@doho.ac.jp)

同朋大学

E-MAIL: nyushi@doho.ac.jp TEL: 052-411-1247
FAX: 052-411-4124
〒453-8540 名古屋市中村区稲葉地町7-1 WEB: <https://www.doho.ac.jp/>

■文学部
仏教学科／人文学科

■社会福祉学部
社会福祉学科
心理学専攻／社会福祉専攻／子ども学専攻

■大学院
人間学研究科 仏教人間学専攻
仏教文化分野／人間福祉分野／臨床心理分野

■別科
仏教専修

金沢真宗学院生募集要項

目 的

現代社会は、われわれ人間のあくなき欲望により、さまざまな問題を露呈しております。それらの問題の根には、いのちを自分のものとして了解するという、現代人の関心が横たわっています。

本院の課題は、親鸞聖人の教えによって、その関が照らし出され、慇懃と報恩のこころ、すなわち南無阿弥陀仏なるいのちを取りもどし、如来の本願の教えを生きた人間を生みだすことにあります。

本学院は、このような課題を背負って次代を生きんとする真宗大谷派教師の養成を目的としております。それは、無量寿なるいのちに目覚め、無量寿なるいのちを生きんとする「求道の人」を生みだすことであります。

〈修業年限〉

3年間
月平均10日間 18時～20時

〈授業時間〉

土曜日・日曜日・祝日は原則として休講
高等学校卒業またはこれと同等以上の学力を有すると認められる者

〈出願資格〉

20名程度
①入学願書(所定用紙・消えるボールペン不可) ②最終学校卒業証明書または在学証明書(卒業証書のコピー不可) ③レポート「金沢真宗学院入学にあたってのわたしの願い」(字数800字程度) ④受験料1万円

〈提出書類〉

2026年3月2日(月)～3月31日(火) (平日9時～17時、土・日・祝日を除く)

〈出願期間〉

2026年4月9日(木) 【審査内容は面接です】

〈入学考査〉

後日、本人へ直接通知します。

〈合格発表〉

1年間(原則として、第1学年からとなります)

〈聴講生制度〉

(1)提出書類 聴講願書(所定用紙・消えるボールペン不可)
(2)出願期間 2026年3月2日(月)～3月31日(火)
(平日9時～17時、土・日・祝日を除く)

〈面接日〉

2026年4月9日(木)

〈許可通知〉

後日、本人へ直接通知します。

〈お問い合わせ・資料請求先〉

〒920-0854 石川県金沢市安江町15番52号
真宗大谷派金沢教務所内 金沢真宗学院事務局

TEL 076-265-5191
FAX 076-265-5192
E-mail kanazawa@higashinongun.jp

目 的

本学院の教育は、大谷派教師資格取得を縁として、教区内寺院を中心とした指導とともに、真の教師たる信心の行人たらしめることを目指して行つ。

大垣真宗学院生募集要項

2026年度 募集コース

	年間40日程度通学 土曜コース※2	夏期に30日程度通学 夏期集中コース
修業年限	3年	4年
期 間	4月25日(土) 3月頃	8月17日(月) 9月13日(日)
授業時間	10:30～14:30	9:00～14:30
授業形態	各学年別授業	4年合同の授業※1
上山研修	8月29日(土)～31日(月)	
募集人数	30人程度	10人程度

※1 夏期集中コースは、1年生から4年生合同で交流を深めながら講義を受けます。各学年別の授業ではありません。

※2 土曜コースの募集は3年ごとに行います。規定の定員に達しなかった場合、開講しないこともございますので、ご了承ください。

〈お問い合わせ・所定用紙請求先〉

〒503-0897 岐阜県大垣市伝馬町11番地
真宗大谷派大垣教務所内 大垣真宗学院事務局

TEL 0584-78-3363 FAX 0584-78-3353
E-mail ogaki@higashinongun.jp



名古屋真宗学院生募集要項

目 的

親鸞聖人が開顕された浄土真宗の教えに基づき、仏祖崇敬の念をもって教法を聞思し、儀式執行の行儀を修得して、本派の教師たるにふさわしい人材を養成することを目的とする。

〈履修期間〉

3年間

〈開院期間〉

前期 2026年5月7日(木)～6月24日(水) 7週35日間
後期 2026年10月5日(月)～26日(月) 3週15日間

※ただし、7月4日(土)～5日(日)・9月26日(土)～27日(日)に一泊研修会を実施の予定。

〈授業時間〉

18時～21時(土・日・祝日は休院日)

〈受験資格〉

高等学校卒業、または高等学校卒業と同等の学力を有すると認められた者

〈出願期間〉

2026年3月2日(月)～3月13日(金)
※平日9時～16時30分(土・日・祝日を除く)

〈出願手続〉

入学願書(所定用紙)・写真(入学願書添付用以外に1枚、4cm×3cm)・最終学校卒業証明書または在学証明書に受験料5千円を添えて、本学院事務局へ提出してください。

〈入学試験〉

2026年3月24日(火) 16時～、名古屋教務所にて筆記試験(国語・社会に関する問題・面接(再面接も有))

〈入学金金〉

入学金5万円、研修費4万円/年、授業料1年生12万円・2年生14万円・3年生14万円、施設設備費3万円(教区外のみ)/年

〈お問い合わせ・資料請求先〉

〒460-0016 愛知県名古屋市中区橋2丁目8番55号
真宗大谷派名古屋教務所内 名古屋真宗学院事務局

〈お問い合わせ・資料請求先〉

TEL 052-331-2468
FAX 052-331-5845
E-mail nagoya@higashinongun.jp

お知らせ 第60回「京の冬の旅」大寝殿・宮御殿・鐘楼 特別公開

毎年冬に開催される京都市・京都市観光協会主催のキャンペーン「京の冬の旅」において、「大寝殿」「宮御殿」を僧侶が案内します。また、修復後初めて鐘楼の見学も実施します。この機会にぜひご参拝ください。

◆「大寝殿」「宮御殿」「鐘楼」特別公開

期間 2026年1月9日(金)～3月18日(水) 毎週水曜～土曜
※1月15日・24日、2月5日・12日・21日・27日、3月4日・6日・12日は休止

時間 各日9時～(1日1回・所要時間約80分～90分)

料金 2,700円
※事前予約制(予約は「京の冬の旅」特設サイトに)

詳細・予約は「京の冬の旅」特設サイトをご覧ください→



宮御殿 冬の間



鐘楼

沖縄開教本部

〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2丁目32番21号
TEL.098-890-2490 FAX.098-890-2491

第26回 非戦・平和沖縄研修会 募集要項

沖縄戦後のあゆみ

～米軍統治下から今なお続く沖縄の苦悩～

戦後80年の節目の年が過ぎましたが、沖縄では戦後も米軍統治下で事件が絶え間なく続きました。本年は戦後81年となりますが、戦後沖縄で起きた事件はいずれもこれから「80年目」を迎えています。2025年に公開された映画『宝島』は戦後の米軍統治下の沖縄で起きた事件・事故の中で、米軍と日本に抑圧され続ける中で生きた人々の葛藤が描かれています。

米軍統治下であった1945年から1972年までの27年間、幾多の米軍による犯罪がありました。沖縄の日本復帰から2021年までの約50年間で米軍関係者の犯罪は6,109件にのぼり、うち凶悪犯は584件発生しています。そして2025年現在、それは絶え間なく起こっており、日々、書類送検や有罪判決が報道されています。特に性犯罪の発生が顕著であり、2024年7月、米兵による16歳未満の少女に対する拉致暴行事件を受け、沖縄別院では「米兵による女性への暴行事件に抗議します」との抗議声明を出しました。事件・事故が起こるたびに米軍は再発防止策などを約束しますが一向に改善される気配がなく、不信感をぬぐえません。

映画『宝島』の作中で、米軍の悪政と横暴に耐えきれなくなった者が、米軍に対して暴力に訴えようとするシーン。主人公の「そんなことしても変わらない」との呼びかけに「こうでもしなければ変わらない」と叫び返すあの葛藤は、今なおつづく沖縄の苦悩する心を表しているように思います。

今回は、戦後沖縄の歴史を学び、映画でも取り上げられている事件・事故の現場をフィールドワークします。

「日本を取り巻く安全保障の厳しさ」という一言で、日米の軍備が強化され続けている沖縄で、浄土を抛り所として生きる者として歩みが問われてきます。本研修会を通して、沖縄の戦後の歴史から、一人ひとりがそれぞれに課題をいただき、歩みとなることを期して開催します。皆様のご参加お待ちしております。

- 期 間 2026年4月14日(火)～16日(木)
- 会 場 那覇セントラルホテル (〒900-0013沖縄県那覇市牧志2-16-36)、沖縄本島各地
- 講 師 野添 文彬 氏 (沖縄国際大学教授)
- 参 加 費 5,000円
※会場までの往復旅費と宿泊費は全額自己負担となります。参加確定後、各自手配・購入ください。
- 募集人員 30名※定員に達し次第、締め切ります。
- 申込方法 申込用紙に必要事項を記入の上、沖縄開教本部までお申し込みください。
※申込用紙は沖縄開教本部または最寄りの教務所にお問い合わせいただくか、宗派公式ウェブサイトからダウンロードいただけます。
- 申込締切 2026年4月6日(月) までに沖縄開教本部必着のこと (FAX可)
- 申 込 先 沖縄開教本部 (〒901-2223 沖縄県宜野湾市大山2-32-21)
TEL:098-890-2490 FAX:098-890-2491 Email:okinawa@higashihonganjior.jp
- そ の 他 参加申込者へは、追って詳細をお送りします。

[注意] 旅行手配の前に、必ず参加申し込みが締め切られていないかご確認ください。

真宗本廟奉仕・縁・諸研修報告

〈研修部〉

▼真宗本廟奉仕 (25・12月) ▲

教区	組	団体名	引率者名	人数	期間
北海道	第7	後期教習奉仕団	曾我隆信	38	12/5～12/7
東北	山形第7	西蓮寺女人講奉仕団	鈴木紀恵	12	12/15～12/17
東北	山形第4	順行寺お煤払い奉仕団	菅生和典	8	12/19～12/20
新潟	第7	推進員養成講座後期教習	浅山景	5	12/20～12/21
新潟	第15	いのちの輝き発見塾	山宮修	27	12/5～12/7
岐阜高山	益田	門徒会上山研修	水嶋光聡	11	12/11～12/12
名古屋	尾張笠井講お煤払い奉仕団	尾張笠井講お煤払い奉仕団	下野光洋	12	12/11～12/12
京都	石東	浄慶寺お煤払い奉仕団	藤浪晃宗	19	12/19～12/20
九州	熊本北	西宗寺 本山で出遇い ましょう奉仕団	橋本文明	10	12/11～12/13
海外開教区	開教使真宗本廟奉仕研修	後藤謙彰	細川克彦	6	12/19～12/21
真宗同朋の会全国推進員連絡協議会	真宗本廟お煤払い奉仕団 (個人)	1泊	2泊	12/19～12/21	12/19～12/21
真宗本廟お煤払い奉仕団 (個人)	2泊	研 修 部	計15団体	218名	

▼縁 (25・12月) ▲

計2期間 2団体 5名

▼諸研修 (25・12月) ▲

研修・会議名	担当部	人数	期間
「教化伝道研修」第5期第1回研修会	研修部	40	12/22～12/23
2025年度下半期教師修練スタッフ事前研修会	研修部	31	12/11～12/13
計3団体		97名	

江戸時代から続く信仰の歴史に参加してみませんか？

「蓮如上人御影道中」 自主参加者募集

～真宗本廟と吉崎別院の間を蓮如上人の御影のお供として歩く御仏事～



東本願寺 → 吉崎別院 (福井県あわら市)
4月17日～23日 約200km
吉崎別院 (福井県あわら市) → 東本願寺
5月2日～9日 約220km

蓮如上人による北陸教化のご苦労とその徳を偲ぶ「蓮如上人御忌法要」が、毎年4月23日から5月2日まで、吉崎別院で勤まります。

法要にあたっては、真宗本廟から蓮如上人の御影を御輿に乗せ、上人が歩いたとされる道のりを徒歩で7日間かけ、琵琶湖を西回りで吉崎別院まで旅をします。法要が勤まった後、今度は東回りで8日間かけて、御影は京都に帰ってこられます。この道のりを「蓮如上人御影道中」と呼んでいます。

寺院や門徒宅といった会所に立ち寄り、随行教導による法話を聞きながら歩む道中では、お参りの方が花をそなえたり、農作業の手を止めて合掌し、念仏される姿も見られます。こうして蓮如上人御影道中は、真宗本廟と上人御教化の地・吉崎をつなぐ大切な御仏事として、江戸時代より今日まで毎年絶えることなく受け継がれています。

京都・吉崎間の長い道のり、険しい坂道や峠も通るため、多くの方にお供としてご参画いただくことが必要です。「動く道場」ともいわれる御仏事としての御影道中に、ぜひご参加ください。

【申込方法】

事前に「自主参加申込書」を吉崎別院に提出してください。後日、御影道中協力会より確認の連絡があります。「自主参加申込書」は、吉崎別院のホームページからダウンロードいただけます。

【参加費用】 ※出発（参加）当日に担当者へお支払いください。

◆全行程参加：御下向（京都→吉崎）50,000円／御上洛（吉崎→京都）60,000円
（宿泊費・食事代・サポート懇志金含む）

◆区間参加：一泊9,000円（夕・朝食付）、昼食代1,000円
サポート懇志金（保険含む）1日1,000円

※宿泊・昼食・サポート（保険付加）をご希望の方は、必ず事前にお申し込みください。

【参加にあたっての諸注意】

- ①宿泊は、20人を目安にしています。人員が目安を超える際は、話し合いをさせていただきます。
- ②宿泊は、大広間や本堂で全員一緒に宿泊する場所もあります。
- ③道中はあくまでも「御仏事」です。ハイキングやレクリエーションではありません。観光での参加はお断りさせていただいております。
- ④持病のある方は、申込時に必ず申請をしてください。なお、症状によっては参加をお断りする場合がありますのでご了承ください。
- ⑤道中は時速5km前後の速さで歩きます。十分に歩く訓練をなさってご参加ください。
- ⑥道中は過酷で、車の交通量が非常に多い区間もあります。区間毎の参加も受け付けておりますので、お身体と十分に相談のうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

その他詳細・注意事項は、吉崎別院ホームページ等でご確認ください。

申込締切 御下向：2026年3月31日(火)
御上洛：2026年4月10日(金)
「自主参加申込書」吉崎別院必着

「御影道中」参加に関するお問い合わせ
真宗大谷派 吉崎別院
TEL: 0776-75-1904（受付時間 8時30分～16時30分）



蓮如さんゆかりの吉崎別院での『御文』講習会 参加者募集



蓮如上人ゆかりの吉崎別院を会場に『御文』の読み方の講習会を開催します。

講習会では吉崎御坊と蓮如上人や『御文』について学ぶ講義の時間もあり、『御文』や蓮如上人、吉崎御坊について往時を偲びながら学ぶことができます。読法の講師は本廟部堂衆が勤めます。

また、日程2日目には蓮如上人御祥月の法要（廿五日講）にもご参拝いただけます。ぜひ、ご参加ください。

- 1 開催日 2026年3月24日(火)～25日(水) ※24日のみの参加可
- 2 会場 吉崎別院（〒922-0679 福井県あわら市吉崎1丁目301）
※新幹線・在来線の芦原温泉駅から「あわらぐるとタクシー」を利用すると吉崎別院最寄りの「道の駅 蓮如の里あわら」まで600円でタクシーが利用できます。
- 3 対象 真宗大谷派の門徒・僧侶
- 4 定員 20名
- 5 参加費 13,000円（1泊2食付き） ※当日現金でお支払いください
※24日のみの参加（宿泊・夕食なし）の場合6,000円となります
- 6 日程（予定）

3月24日		3月25日	
13時30分	受付	7時30分	お朝事・朝食
14時	開会	8時30分	吉崎御坊周辺フィールドワーク
14時15分	蓮如上人や『御文』に関する講義	10時	法要・法話
15時15分	休憩	12時	終了
15時30分	『御文』読法講義・実技指導		
17時30分	終了		
18時	夕食		

- 7 講師 【蓮如上人や『御文』に関する講義】
出雲路修氏（元龍谷大学教授・小松大聖寺教区毫攝寺前住職）
【『御文』読法講義・実技指導】
多田 隼氏（本廟部堂衆）
- 8 持ち物 念珠、筆記用具、真宗大谷派勸行集（赤本）、宿泊に必要なもの
※吉崎別院にはタオル・歯ブラシ・寝巻等の備えはありません。
（ドライヤー・シャンプー・ボディソープのみ設置）
僧籍をお持ちの方：問衣、輪袈裟、『御文拝読作法稽古本』（東本願寺出版）
僧籍をお持ちでない方：略肩衣（お持ちの方）、『御文』（普段お内仏でお読みいただいているものなど、ご用意いただけるものをお持ちください）
- 9 申込方法 2026年3月17日(火) までに真宗大谷派吉崎別院（TEL：0776-75-1904）へお電話いただくか、以下の案内ページ内のお申し込みフォームからお申し込みください。

※定員に達し次第締め切らせていただきます。詳しくはこちらをご覧ください



【お問い合わせ】真宗大谷派吉崎別院（福井県あわら市吉崎1丁目301） TEL：0776-75-1904

組 織 部

〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL.075-371-9187 FAX.075-371-9194

第14回世界同朋大会のご案内

第14回世界同朋大会は、開教区における宗祖親鸞聖人の御誕生850年と立教開宗800年の慶讃法要お待ち受け大会を兼ねて開催し、「南無阿弥陀仏 一人と生まれたことの意味をたずねていこう」をテーマに掲げています。

特に南米開教区・ブラジルを開催地とするこの大会は、「仏教東漸」の理のごとく、浄土真宗が遙か海を越え、パラグアイやアルゼンチンを含む南米の地に根付き、花開いてきた証を確かめる場でもあります。

また、サブテーマを「同朋（ボン・アミーゴ）—多様性を生きる—」として、異なる言語、文化をはじめ、性別、年齢、価値観、能力など、多様な個性や背景をもつ私たちが、それぞれの違いを尊重しながら、ともにお念仏の大地に立つ「同朋」であることを、語らいと交流を通じて確かめていきます。

■大会期間：2026年8月29日(土)～30日(日)

■会場：ブラジル連邦共和国パラナ州〈南米開教区〉
レカントカタラタス テルマス リゾート エ コンベンション

■テーマ：南無阿弥陀仏
一人と生まれたことの意味をたずねていこう

■サブテーマ：同朋（ボン・アミーゴ）—多様性を生きる—

■講師：マイケル・コンウェイ氏（大谷大学准教授）

■定員：200名（日本参加者80名、海外開教区参加者120名）

■参加費：30,000円（旅行代金は別途）



イグアスの滝



大会日程

8月29日(土)	
9:30	海外開教区慶讃法要お待ち受け大会（開会式）
11:00	お待ち受け大会記念講演
14:00	各開教区からの提言
15:30	グループディスカッション
17:30	晩餐会（各開教区出し物）

8月30日(日)	
9:30	おあさじ
10:30	講義
11:30	閉会式

※日程は変更する場合があります

第14回世界同朋大会への参加にあたって、ツアーを企画しましたので是非ご参加ください！

【Aコース（10日間）】 エミレーツ航空で行く 世界が憧れる情熱の街 リオ・デ・ジャネイロ
期 間：2026年8月26日(水)～9月4日(金)【関西空港発着】

【Bコース（12日間）】 一生に一度は訪れたい天空都市 ゆったりマチュピチュ2連泊
期 間：2026年8月26日(水)～9月6日(日)【成田空港発着】



リオ・デ・ジャネイロ（コルコバードの丘）



マチュピチュ

コース名		発着地	ツアー代金（賞加金30,000円含む）	
A	エミレーツ航空で行く 世界が憧れる情熱の街 リオ・デ・ジャネイロ	関西空港	2名1室利用	730,000円
			1名1室利用	856,000円
B	一生に一度は訪れたい天空都市 ゆったりマチュピチュ2連泊	成田空港	2名1室利用	1,180,000円
			1名1室利用	1,340,000円

※別途、燃油サーチャージ及び空港諸税のほか、海外旅行傷害保険料等が必要となります。

■申込期間：2026年3月31日(火)まで

■申込方法：以下のいずれかの方法にてお申し込みください。

- ①「第14回世界同朋大会参加申込書」（宗派公式ウェブサイトよりダウンロードできます）に必要事項をご記入いただき、近畿日本ツーリスト京都支店まで郵送いただくか、FAXまたはメールに添付して送信。
- ②宗派公式ウェブサイト掲載の「第14回世界同朋大会参加申込フォーム」より必要事項を送信。

宗派公式
ウェブサイト

ツアー申し込み・お問い合わせ

近畿日本ツーリスト株式会社 京都支店
〒604-8186 京都府京都市中京区車屋町通御池下ル梅屋町358 アーバネックス御池ビル西館8F
TEL：075-221-7401（10時～17時） FAX：075-223-5192
E-mail：kyoto2@or.knt.co.jp

大会に関するお問い合わせ

組織部（国際室）
〒600-8505 京都府京都市下京区烏丸通七条上る常葉町754番地
TEL：075-371-9187（9時～17時） FAX：075-371-9194
E-mail：kokusai@higashihonganjii.or.jp

真宗本廟奉仕のご案内

「同朋会館」は、全国から集う方々が寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を習う聞法の道場です。ご門徒・お友達を誘って、真宗本廟奉仕にご参加ください。

お申し込みは上山希望日の40日前までに行ってください。

テーマのある真宗本廟奉仕のお申し込みはこちら…



テーマのある真宗本廟奉仕のご案内

◆真宗本廟春の法要奉仕団 申込締切：2026年2月21日(土)

【2泊】4月1日(水)～4月3日(金)／【1泊】4月1日(水)～4月2日(木)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁とした親鸞聖人御誕生会（音楽法要）や全戦没者追弔法会等の「春の法要参拝」を中心とした奉仕団です。

【参加費】〈2泊3日〉18,000円、米2kg（1升4合）または米代1,300円
〈1泊2日〉13,000円、米1.2kg（8合）または米代800円
※上記は大人（15歳以上）の場合です。

◆真宗本廟おみがき奉仕団 申込締切：2026年5月29日(金)

【2泊】7月8日(水)～7月10日(金)／【1泊】7月8日(水)～7月9日(木)

盂蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

2026年7月1日より、同朋会館賛加金を改定します。詳細は『真宗』誌
2025年9月号16頁または宗派ウェブサイトをご覧ください。



【参加費】〈2泊3日〉22,000円、米2kg（1升4合）または米代1,500円
〈1泊2日〉16,000円、米1.2kg（8合）または米代900円
※上記は大人（15歳以上）の場合です。

●真宗本廟奉仕施設の利用について…



●「縁」一納骨・帰敬式同朋会館宿泊プラン…
納骨・帰敬式でのご参拝の際、同朋会館にご宿泊いただけます。



【研修部（同朋会館） TEL：075-371-9185】

現在受付中の募集・開催要項等

詳細は本誌もしくは宗派公式ウェブサイトをご覧ください。

◆南米開教区開教使募集要項（本誌1月号42頁）

随時募集（派遣者が定員に達した時点で募集を終了いたします）

組織部（国際室）【TEL：075-371-9187／E-mail：kokusai@higashihonganji.or.jp】



◆雪に愉しむ池の平with子ども報恩講（本誌1月号39頁）

申込締切：2026年2月16日（月）

新潟教区 高田教務事務所内 池の平青少年センター係

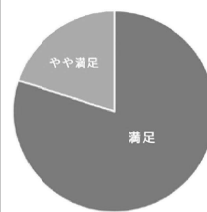
【TEL：025-524-3913／FAX：025-524-2645】

第3回「真宗トーク」アプリで対話カフェ

参加費
無料

～問いからはじまるコミュニケーション～参加者募集！

真宗トークアプリの
体験について満足度を
教えてください



(2024年度参加者アンケートより)

「真宗トーク」アプリで対話カフェは、テーマをもとに短い対話を重ねるユニークなコミュニケーション体験です。画面に示されたお題に沿って、それぞれの考えを1分間で語り、それに対して他の参加者がカードを使って感想を共有します。多様な視点から心を開き、対話の大切さを再認識してみませんか？

この体験では、カード形式で行っていた「真宗トーク」をウェブアプリ化し、オンラインで対話を楽しみながら、「聞き合う場づくり」を体験します。お寺の行事や同朋の会などで、対話のきっかけづくりとしても活用されることを願っています。ぜひ、お気軽にお申し込みください。

1 日 時 ①2026年2月17日(火) 16時～18時

②2026年3月5日(木) 16時～18時

2 会 場 オンライン (Zoom)

3 対 象 真宗大谷派に属する寺院の僧侶・寺族・門徒

※スマートフォンが使える、それ以外のPC等でZoomに参加できる方

4 内 容 「真宗トーク」(アプリ版)を使ったオンラインの対話コミュニケーション体験会

5 定 員 各回12名 (先着順)

6 参加費 無料

お申し込みフォーム
はこちら→



【前回の参加者からはこんな声がありました！】



話す、聞く、場の信頼というお寺に求められていることが体感できた。



スマホ操作に不慣れで不安もあったが、比較的使いやすかった。



対話をとおして自分の思いを言葉にし、一人一人から感想を頂戴する仕組みは面白かった。



「真宗」トークアプリの
詳細はこちら→



※参加者には特典として、カード版の
「真宗トーク」を1部贈呈します。

【お問い合わせ】

真宗教化センター寺院活性化支援室（寺院運営活性化支援担当）

E-mail：kyokacenter_shienshitsu@higashihonganji.or.jp TEL：075-371-9208

大谷祖廟（親鸞聖人御廟所）のご案内

大谷祖廟は親鸞聖人の御廟所であり、聖人をはじめ、本願寺の歴代、全国各地の寺院・ご門徒の方々のご遺骨が納められています。

開門：5時 閉門：17時

納骨・永代経・読経受付時間 8時45分～11時30分／12時45分～15時30分

※11時30分～12時45分までは受付を休止しています。

永代経法要 毎日14時30分～15時 定例法話 毎月13日・28日（8/13、9/28、11/28、12/28は休止）
永代経法要後

のう こつ えい たい きょう
納骨・永代経



※外装を除く、高さ15cm・直径9cm（3寸壺以下）を超える容器であり、1種から4種で納骨のお申込みをされる場合は、納骨体数毎に志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※改葬（墓じまい等）の場合は容器の大小問わず、志納額に20,000円を加算してご志納いただきます。

※納骨された遺骨はお返しすることができません。

種別	志納額	読経	お取り扱い
別座1等	1,000,000円以上	別座読経	納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会・盂蘭盆会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に30年間案内状送付
別座2等	500,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に20年間案内状送付
別座3等	300,000円以上		納骨当日、抹茶接待 毎月の命日・春秋彼岸会に永代読経 祥月命日・春秋彼岸会に10年間案内状送付
別座4等	150,000円以上		毎月の命日に永代読経 祥月命日に10年間案内状送付

種別	志納額	志納額 【容器大／改葬】	読経	お取り扱い
1種	100,000円以上	120,000円以上	一座読経	毎月の命日に永代読経。祥月命日に10年間案内状送付
2種	70,000円以上	90,000円以上		祥月命日と彼岸会（春または秋）に永代読経
3種	40,000円以上	60,000円以上		彼岸会（春または秋）に永代読経
4種	20,000円以上	40,000円以上		永代経のお取り扱いはございません

かいそうのうこつ し 改葬納骨志

「墓じまい」等に伴って、改葬されたご遺骨を受付する際に、「法名」・「俗名」・「命日」等の情報が必要で不明の場合、改葬納骨志20万円以上のご志納により受付させていただきます。

詳細内容を確認させていただくため、改葬納骨志を希望される場合は、事前に大谷祖廟事務所までお問い合わせください。

ど きょう
読経

（お経のみのお扱いです）



種別	志納額	場所	読経の扱い
賀慶殿別座読経	70,000円以上	賀慶殿	別座読経
茶所別座読経	50,000円以上	茶所仏間	別座読経
本堂読経	7,000円以上	本堂	一座読経
茶所読経	5,000円以上	茶所仏間	一座読経
御廟読経	5,000円以上	御廟	一座読経
総経	1,000円以上	御廟	夕刻に総じて読経

●団体参拝について…



●仏前結婚式について…



●施設利用について…



〔大谷祖廟事務所 〒605-0071 京都市東山区円山町477
TEL：075-561-0777 FAX：075-533-0780 〕



真宗教化センター しんらん交流館のご案内

教化情報の発信・交流の拠点として、人と人をつなぐ地域に開かれた行事を開催しています。

東本願寺日曜講演 9時30分～11時

2月1日 九州教区光行寺住職 保々眞量氏

「人と生まれたことの意味を求めながら意味に迷い苦しむ人間」

2月8日 青少幼年センター主幹 鷺嶺彰宏氏

「大谷派における青少幼年教化の歴史～青少幼年と共に悩み、共に生きる～」

2月15日 東京教区専福寺住職 二階堂行壽氏

「浄土真宗の仏事―言葉に出会い、人は生まれる―」

※2月22日は休会

◆月刊雑誌『ともしび』（東本願寺日曜講演や親鸞聖人讃仰講演会の抄録を掲載）

2026年2月号「合掌の道」 川島弘之氏（東京教区報佛寺衆徒）

1部165円（税込・送料別）

お申し込みは東本願寺出版（TEL：075-371-9189）まで



しんらん交流館定例法話 お勤め14時～、法話14時30分～15時30分（毎月12日・27日は10時～）

※2月10日を除く毎週火曜日休会。その他都合により休会する場合があります。

2月の日程はこちら…



電話相談「東本願寺 いのちとこころの相談室」 毎週木曜日13時～17時

皆さまのお悩み・ご相談をお聞きます。 TEL：075-371-9280

東本願寺文庫・絵本コーナー 9時～16時30分 ※絵本コーナーの閲覧は17時まで

書籍・絵本の閲覧、貸し出しを行っています。

浄土真宗ドットインフォ（しんらん交流館ホームページ）のご案内

お寺のサポート情報・浄土真宗の教えにふれる情報を配信しています。



〔真宗教化センター しんらん交流館 【開館時間／9時～17時 休館日／毎週火曜日】
〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下上柳町199番地
TEL：075-371-9208 メール：shinrankoryukan@higashihonganji.or.jp 〕

真宗本廟 参拝接待所のご案内

真宗本廟収骨・読経・帰敬式・お斎・団体参拝の受付を行っています。【開所時間／9時～16時】
【真宗本廟開門・閉門時間／3月～10月：5時50分～17時30分、11月～2月：6時20分～16時30分】

各種お申し込み受付時間・お取り扱いの予定は本誌40頁～41頁



真宗本廟収骨



法義相続・本廟護持を願いとする相続講金を12万円以上お納めいただきますと、その御扱いとして、御影堂の宗祖親鸞聖人御真影のもとに、ご遺骨をお収めさせていただきます。

- 事前の手続き**
- ①相続講金をお手次ぎ(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「真宗本廟収骨證」の発行を受けてください。参拝接待所では、「収骨證」発行の手続きをしておりません。必ず事前手続きを行ってください。
 - ②「収骨證」発行の際に配布される参拝案内冊子「参拝される皆さまへ」(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ウェブサイトから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※「収骨證」1枚につき、1体のお収めとなります。

- 当日の受付**
- ①ご遺骨に「収骨證」を添えて、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。
 - ②ご遺骨は参拝接待所にて7cm角の桐箱にお移し替えいたします。お収めしたご遺骨はお返しできません。また桐箱の容量を超えるご遺骨はお返しすることになります。

《お斎付真宗本廟収骨について》

※相続講金を1体につき30万円以上お納めいただきますと、規定人数分(3名)のお斎の接待があります(要事前申込)。
詳細は教務所または参拝接待所までお問い合わせください。

本山読経



本山永代経 御影堂にて永代経の御紐解(初めての読経)を行い、『法名記』に登載します。
以後、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。

御影堂読経 御影堂にて一座読経いたします。
受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。

仏間読経 参拝接待所仏間に一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申込みください。

※都合により読経場所を変更する場合があります。

種別	読経志	読経扱	お斎接待
本山永代経	別座特等	1,000,000円以上	完全別座
	別座一等	500,000円以上	別座
	別座二等	300,000円以上	別座
	別座三等	200,000円以上	別座
	四等	100,000円以上	一般
	五等	50,000円以上	一般
御影堂読経	30,000円以上	一般	なし
仏間読経	10,000円以上	随時	なし

(8)

《本山永代経・御影堂読経の事前の手続き》

- ①読経志をお手次(所属)の寺院・教会をとおしてお納めいただき、所定の手続きの上、「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」の発行を受けてください。
 - ②「永代経御紐解證」・「御影堂読経参詣證」発行の際に配布される参拝案内冊子「参拝される皆さまへ」(真宗本廟収骨・読経取り扱い表付)を参照の上、参拝される3週間前までに宗派公式ホームページから届出いただくか、事前届出ハガキに参拝予定日・参拝人数等をご記入いただき、参拝接待所までご送付ください。
- ※本山永代経四等、本山永代経五等、御影堂読経は当日申込できます。

《本山永代経・御影堂読経の当日の受付》

「永代経御紐解證」または「御影堂読経参詣證」を必ず持参の上、受付時間内に参拝接待所にて手続きください。

《完全別座読経について》 読経志100万円以上お納めいただきますと、親族のみでの別座にて読経の上、希望数のお斎の接待があります(要事前申込)。

《別座読経について》 読経志を20万円以上お納めいただきますと、別座(同日に他に別座の申込がある場合はご一緒の案内)にて読経の上、上記のとおりお斎の接待があります(要事前申込)。

※完全別座、別座の受付は10時までとなります。当日は10時までに受付をお済ませください。

帰敬式



帰敬式は、仏・法・僧の三宝に帰依し、仏弟子となる大切な儀式です。
真宗本廟では、基本的に毎日、午前と午後には執行しています。

当日の受付 参拝接待所にて9時から受付をいたします。
お礼金 お一人10,000円(20歳以下5,000円)

●お斎について……………
精進料理のお膳を書院でお召し上がりいただけます。



●真宗本廟団体参拝について……………
諸殿拝観や清掃奉仕等を通して、真宗の教えにふれていただくことを願っています。



晨朝法話・真宗本廟法話

晨朝【阿弥陀堂及び御影堂】毎日7時～ 晨朝法話【御影堂】毎日7時30分頃～

真宗本廟法話【視聴堂ホール・御影堂・参拝接待所仏間】

通常：10時10分～／13時10分～ 連夜日(12日・27日)：13時10分～

御命日(28日)：9時30分～

法要・法話のご案内…

参拝接待所ギャラリー 9時～16時 入場無料

「親鸞聖人のご生涯」(常設展)

渉成園(枳殻邸)

開園時間 〈3月～10月〉9時～17時(受付は16時30分まで)

〈11月～2月〉9時～16時(受付は15時30分まで)

庭園維持寄付金 一人700円以上(高校生・中学生300円以上、小学生以下無料)

【本廟部参拝接待所 TEL：075-371-9210】



渉成園

(9)

2026年3月 真宗本廟—収骨・読経・帰敬式—受付時間表

※帰敬式について、住職選定法名での受式をご希望の場合は、受式の1ヵ月前までに参拝接待所までお申し込みください。

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日 曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 日	●	●	●	●	●	●	
2 月	×	×	×	×	●	●	
3 火	×	×	×	×	×	×	おみがき
4 水	●	●	●	●	●	●	
5 木	●	●	●	●	●	●	
6 金	×	●	×	●	×	●	得度式
7 土	●	●	●	●	●	●	
8 日	●	●	●	●	●	●	
9 月	●	●	●	●	●	●	
10 火	●	●	●	●	●	●	
11 水	●	●	●	●	●	●	
12 木	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御命日速夜
13 金	●	●	●	●	●	●	
14 土	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日速夜
15 日	●	●	●	●	●	●	
16 月	×	×	×	×	×	×	御莊嚴
17 火	【春季彼岸会】 収骨・読経については、 お取扱いはありません（仏間読 経のみお取扱ひがあります）。 ご遺骨を持参された場合、 参拝接待所にてお預かりし、 24日にお収めいたします。		● (9:30)	×	9:20	●	
18 水			×	×	9:20	●	
19 木			×	×	9:20	●	
20 金			● (9:30)	×	9:20	●	
21 土			×	×	9:20	●	
22 日			● (9:30)	×	10:15	●	永代経総経
23 月			● (9:30)	×	9:20	×	午後御莊嚴払い
24 火	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 蓮如上人御祥月命日速夜
25 水	●	×	●	×	9:30	×	蓮如上人御祥月命日中 午後御莊嚴払い
26 木	●	●	●	●	●	●	
27 金	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日速夜
28 土	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中
29 日	●	●	●	●	●	●	
30 月	●	●	●	●	●	●	
31 火	×	×	×	×	×	×	御莊嚴

2026年4月 真宗本廟—収骨・読経・帰敬式—受付時間表

×—お取扱ひなし ●—お取扱ひあり ※受付は9:00より開始、()—受付締切変更時間

受付	収骨・読経		帰敬式		法話		備 考
	午前	午後	午前	午後	10:10	13:10	
日 曜	10:10まで	13:10まで	10:10まで	13:10まで	10:10	13:10	
1 水	【春の法要】 収骨・読経については、お 取扱ひはありません（仏間読 経のみお取扱ひがあります）。 ご遺骨を持参された場合、 参拝接待所にてお預かりし、 4日にお収めいたします。		● (9:30)	×	9:30	×	師徳奉讃法要 親鸞聖人御誕生会（音楽法要）
2 木			● (9:30)	×	×	×	全戦没者追弔法会
3 金			●	×	10:20	×	相續講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会 午後莊嚴払い
4 土	●	●	●	●	●	●	
5 日	●	●	●	●	●	●	
6 月	●	●	●	●	●	●	
7 火	●	●	●	●	●	●	
8 水	●	●	●	●	●	●	
9 木	●	●	●	●	●	●	
10 金	×	×	×	×	×	●	住職・教会主管者在任50年記念豊饗齋呈式
11 土	●	●	●	×	●	●	一如上人御祥月命日速夜
12 日	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 先門首御祥月命日速夜
13 月	●	×	●	×	9:30	×	先門首御祥月命日中 午後御莊嚴 琢如上人御祥月命日速夜
14 火	●	●	●	×	●	●	歌徳院殿御命日速夜
15 水	×	×	×	×	9:30	×	立教開宗記念法要 午後御莊嚴払い
16 木	●	●	●	●	●	●	
17 金	×	×	×	×	●	×	蓮如上人御影吉崎別院御下向式
18 土	●	●	●	●	●	●	
19 日	●	●	●	●	●	●	
20 月	●	●	●	●	●	●	
21 火	●	●	●	●	●	●	
22 水	●	●	●	●	●	●	
23 木	●	●	●	×	●	●	緯如上人御祥月命日速夜
24 金	●	● (14:10)	×	● (14:10)	●	●	蓮如上人御命日速夜
25 土	●	●	●	●	●	●	
26 日	●	●	●	●	●	●	
27 月	×	● (14:10)	×	● (14:10)	×	●	午前御莊嚴 宗祖聖人御命日速夜
28 火	●	×	●	×	9:30	×	宗祖聖人御命日中 住職任命式
29 水	●	●	●	●	●	●	
30 木	●	●	●	●	●	●	

一等旌賞

八木顕太郎 戸田直夫 曾我 元 鈴木智顕 藤澤 彰
武田典久

二等旌賞

松澤成人

四等旌賞

藤井良明

八等旌賞

寺谷正行 岡崎 慈 寺澤至恩 佐々木泰雅 石田至宏
金波智明 稲垣潤映 則竹真幸 飯田弘登 丹下 理

所在地変更

大阪教区第22組 永覺寺
大阪府貝塚市堤一丁目14番10号

敬 弔

ご生前のご功勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

(2025年11月16日～12月15日受付まで)

住職及び前住職

新潟教区 第19組 善仁寺
住 職 松 永 弼 恵
2025・8・9寂 (87歳)

富山教区 第3組 聖光寺
前住職 北 田 堅 信
2025・11・2寂 (96歳)

金沢教区 第8組 稱念寺
住 職 中 島 隆 志
2025・9・2寂 (85歳)

大垣教区 第10組 光照寺
前住職 下 野 秀 然
2025・11・6寂 (89歳)



輪島塗記念品・調度品・什器・家具・修理品など承ります。



輪島塗本舗 うるし屋

電話 0768-23-0188 ファックス 0120-23-0856 FAX0768-23-0089
〒928-0001 石川県輪島市河井町499(朝市通り東) 営業時間AM8:30～PM17:00 毎週日曜日定休

毎月全国へ出張訪問中
まずは電話、メールなどでご連絡ください。
日程相談の上参上いたします。

寺宝 正絹金襴緞子
文化財修理修復表装

表具幅 83cm まで 正絹 44万円(税込)
表具幅 70cm まで 正絹 38万円(税込)

そろそろ修理

御絵伝・七高僧・聖徳太子

杉本工芸

〒602-8268 京都市上京区山里町 236-1
TEL075-417-6966
sugikake@gmail.com

見積無料

大阪教区 第8組 圓照寺
住 職 西 山 哲
2025・8・13寂 (89歳)

大阪教区 第24組 専念寺
前住職 菊 地 耕
2025・10・18寂 (93歳)

大阪教区 第25組 西休寺
前住職 藤 並 崇
2025・10・21寂 (80歳)

山陽四国教区 赤穂組 明顯寺
前住職 内 藤 雅 文
2025・10・18寂 (74歳)

山陽四国教区 美作組 教本寺
前住職 樺 葉 智 章
2025・8・11寂 (76歳)

九州教区 熊本西組 鎮道寺
住 職 和 氣 孝 友
2025・10・7寂 (79歳)

坊守及び前坊守

東北教区 山形第3組 等順寺
前坊守 藤 戸 慧 子
2025・8・30寂 (83歳)

金沢教区 第10組 願慧寺
前坊守 吉 田 三千代
2025・10・15寂 (93歳)

岡崎教区 第7組 勝燈寺
前坊守 安 藤 いくよ
2025・10・27寂 (103歳)

三重教区 桑名組 常音寺
坊 守 松 崎 律 子
2025・9・21寂 (75歳)

京都教区 長浜第17組 存光寺
坊 守 佐 野 芳 子
2025・11・2寂 (81歳)

原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストシリーズ第四弾

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃記念

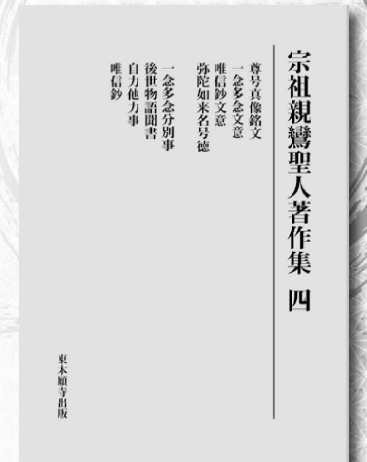
宗祖親鸞聖人著作集 四

聖教編纂室(編)／東本願寺出版(発行)

原典に立ち返った学びを進めるための聞法テキストシリーズ第四弾。

宗祖親鸞聖人撰述の仮名による聖教(『尊号真像銘文』『一念多念文意』『唯信鈔文意』『弥陀如来名号徳』)、また宗祖書写の聖教(『一念多念分別事』『後世物語聞書』『自力他力事』『唯信鈔』)の翻刻を収載。

A5判・箱入り 416頁 定価: 4,950円(税込)



東本願寺出版

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211

東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からの
ご注文は2割引となります。

公示・告示・任免等

公示告示

1 達令公示

公示番号	達令	公示日	主な内容
第17号	宗務役員給与規程の一部を改正する達令	2025年12月10日	家族手当の給付基準の改正。

※公示文は、宗派公式ウェブサイトに掲載しています。



任免辞令

金倉泰賢

「大谷祖廟及び東大谷墓地に関する総合整備委員会」委員を委嘱します

(2025年9月18日)

花園兼有 坂本敏朗
宗務所及び視聴覚ホールの営繕並びに境内設備の改修等に関する委員会委員を委嘱します

(10月24日)

井上 裕 藤原正雄
宗費賦課金に関する審議会委員を委嘱します

(11月4日)

桑谷 優
北海道教区青少年指導主任に任命します

日野 薫 岡 信行

本廟部嘱託に任命します

期限 2026年11月30日まで

亀谷 亨

「教化伝道研修」第5期の研修長を委嘱します

期限 2027年6月30日まで

中村 晃 佐々木友美

「教化伝道研修」第5期の研修スタッフを委嘱します

期限 2027年6月30日まで

原 公樹 佐々本尚 丘 宗宏
福井教区寺院活性化支援員(過疎・過密地域寺院教化支援担当)に任命します

期限 2026年5月31日まで

(以上、12月1日)

片岡俊之

輔導使に任命します

(12月1日)

住 職 (12月13日)

北海道教区第7組 観敬寺	寺本惇一
新潟教区第22組 託明寺	齋藤 遼
新潟教区第1組 本立寺	渡邊智子
富山教区第10組 応声寺	和田悠史
富山教区第13組 真友寺	寺内 真
金沢教区第5組 西光寺	中條利希
岐阜高山教区益田組 光雲寺	江馬 匠
名古屋教区第11組 光輪寺	加藤久貴
京都教区長浜第20組 光輪寺	足利伸也
京都教区山城第1組 法順寺	井上貴文
大阪教区第19組 南溪寺	竹林正智
大阪教区第24組 圓光寺	藤岡 宣
山陽四国教区備後組 寶泉寺	三次正信

住職代務者

東北教区山形第9組 願専寺 内藤秀緑

東京教区山梨組 専徳寺
東京教区長野2組 弘誓寺
新潟教区第10組 徳臨寺
新潟教区佐渡組 廣圓寺
新潟教区高田13組 雙善寺
能登教区第5組 本勝寺
能登教区第10組 浄正寺
福井教区第6組 應蓮寺
福井教区第7組 寶光寺
大田教区第6組 淨林寺
大垣教区第7組 相應寺
三重教区三講組 三光寺
三重教区三講組 養泉寺
三重教区中勢1組 安誓寺
京都教区長浜第14組 福泉寺
京都教区近江第3組 最勝寺
京都教区近江第9組 願宗寺
京都教区近江第10組 光雲寺
大阪教区第2組 唯専寺
大阪教区第15組 正覺寺
大阪教区第18組 浄雲寺
大阪教区第18組 西勝寺
大阪教区第19組 宗徳寺
山陽四国教区神戸組 遍照寺
九州教区熊本西組 鎮道寺

教会主管者代務者

岡崎教区第11組 西尾教会

鈴木 哲
藤岡正樹
大藤越磨
松永寛亮
古川達雄
不二井誠
貞廣賢了
清水慈峰
鷹尾大英
谷 光真
吉田法照
藤田宣和
鹿渡よしみ
岡本広之
東谷慎太郎
吉武昭隆
仲西裕昭
市岡ひろみ
本田 哲
入江賀彦
谷 昌紀
鹿崎正明
松山 隆
大山彰英
大城史雄

泉 敬祐

教 師

僧正

圓谷 淳 佐々本正博

権僧正

白鳥 勲 洲崎善範

大僧都

朝日真悟 藤井俊朗 藍川竜弥 野村正示 和氣孝友

権大僧都

中村俊風 河野徳有 加藤博証 縛通 信 竹中慈祥

藤澤 彰 藤谷 真 福島胤徳 菊地 耕

僧都

高津隆紹 本井義慶 杉本智海

権僧都

松永真吾 北田堅信 樺葉智章 中島隆志

律師

中尾 哲 北畠 玄

権律師

旧富文豊 武田典久 武田和信 内藤雅文

法師位

武田 文

満位

七尾了俊 本井義明

入位

高津隆彦 加藤大至

学 階

学師

高津隆彦 加藤大至

功 章 旌 賞

特殊功章

杉浦 創 古海公丸 槇塚孝純 北畠 玄

第一功章

八木顕太郎 戸田直夫 曾我 元 鈴木智顕 藤澤 彰

杉本智海 武田典久

第二功章

松澤成人

第四功章

藤井良明

第八功章

植村 治 寺谷正行 中村俊風 岡崎 慈

特殊大旌賞

下野秀然

特殊旌賞

杉浦 創 槇塚孝純 杉本智海 太田融哉 藤谷 真

丹下宗明

総ルビで読みやすい

真宗聖典 第二版

聖教編纂 編

「真宗聖典」(初版)の本文を、近年の研究成果を踏まえながら確認し、より充実した『真宗聖典 第二版』として刊行。
同朋の会や講義・学習会等、日々の開法のテキストとしてご活用ください。

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。

〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 詳しい書籍情報・
TEL.075-371-9189 FAX.075-371-9211 試し読みは

東本願寺出版 東本願寺出版 検索

創業宝永年間 各宗大本山御用達

香老舗 松榮堂

京都市中京区烏丸通二条上ル東側
〒604-0857 電話 075 (212) 5590 (代)
www.shoyeido.co.jp

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075) 351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日：日曜日

御香・燭燭

財木屋

〒602-8034 京都市上京区油小路通丸太町上ル
TEL(075) 231-1063 FAX(075) 231-1068

真宗 2月号

公示・告示・任免等 ご案内・要項

公示・告示・任免等

公示・告示 (2)
任免辞令 (2)
住職 (2)
住職代務者 (2)
教会主管者代務者 (3)
教師 (3)
学階 (3)
功章・旌賞 (3)
所在地変更 (4)
敬弔 (4)

ご案内・要項

真宗本願収骨・読経・帰敬式受付時間表 (3月～4月)...	(6)
真宗本願 参拝接待所のご案内 (8)
大谷祖廟(親鸞聖人御廟所)のご案内 (10)
真宗教化センター しんらん交流館のご案内 (11)
真宗本願奉仕のご案内 (12)
現在受付中の募集・開催要項等 (12)
第3回「真宗トーク」アプリ対話カフェ 参加者募集	... (13)
第14回世界同朋大会のご案内 (14)
「蓮如上人御影道中」自主参加者募集 (16)
蓮如さんゆかりの古蹟別院での「御文」講習会 参加者募集 (17)
第26回非戦・平和沖縄研修会 募集要項 (18)
真宗本願奉仕・縁・諸研修報告【上山報告】 (19)
第60回「京の冬の旅」大徳殿・宮御殿・鐘楼 特別公開	... (20)
教区真宗学院生募集要項 (金沢・大垣・名古屋)...	(20)

本誌に関してのご意見・ご要望をお寄せください。 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版「真宗」誌係
FAX: (075) 371-9211 E-mail: shuppan@higashihonganji.or.jp

2026年(令和8年)2月1日発行 第1463号 1部定価: 275円(本体250円+税10%・送料別 毎月1日発行)

編集 東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
発行所 真宗大谷派宗務所 代表者 木越 渉
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 電話(075) 371-9181 振替01000-6-27404(出版部)
印刷所 (株)京富士印刷 京都市西京区大枝南福西町3-4

今月の御法要品

京雅(水晶共仕立)へ本絹房
店頭小売価格 14,300円(税込)
本水晶丸玉と、薄く削り込んだ水晶平玉
を合わせ白色本絹房でお仕立てしました。

本星月菩提樹 二十二(五)虎眼石仕立
店頭小売価格 9,900円(税込)
玉の表面の大きな点を月に、小さな点を星に見立てた
のが名の由来とされる菩提樹に、虎眼石を合わせてお仕立

御法要の記念品は
品質・価格・残った品物の御引取を保証する
念珠の製造専門店

福永念珠舗

創業寛政九年 京都

〒600-8174 京都市下京区東本願寺前上珠数屋町角
電話(075)-351-2960 FAX(075)-351-0018

本星月菩提樹 京 福永念珠舗

※掲載商品のカラー画像はオンラインショップでご覧頂けます。

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年
立教開宗八百年慶讃法要
御影堂御前卓 紅葉桜色地 真向龍 本手刺繍 御打敷

御本山 御用達

営業品目 法衣・打敷・御幕・念珠・貸着児衣装

(株)平安法衣店

〒600-8153
京都市下京区廿人講町16
電話(075)351-3681(代)・FAX(075)351-5563
振替口座 01080-2-3222

はじめての会員登録 (真宗大谷派寺院教会登録)で ポイントプレゼント!

期間: 2月1日(日)～3月31日(火)

「読み専科TOMOがぶっく」からリニューアルした東本願寺出版オンラインストア。
ご利用の際には**あらためて会員登録(寺院教会登録)**が必要になります。
まだ登録がお済みでない方は、2月1日(日)～3月31日(火)にご登録いただくと、
500ポイントをプレゼント!

新刊書も発売中! 詳しくは東本願寺出版オンラインストアをご覧ください。

【お問い合わせ】東本願寺出版
(TEL: 075-371-9189 ※平日9時～16時)

東本願寺出版 検索

英語で真宗の教えにふれる



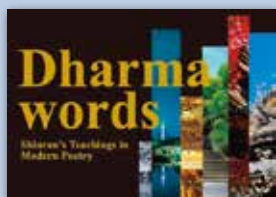
お念仏で救われるって
 ということだろう

念仏の救い 池田勇諦 著

「あなたはいま、ほんとうの念仏と言われましたが、ほんとうの念仏って、どんな念仏なのか」。著者の問いかけから、念仏のはたらきと阿弥陀如来の本願に遇うことの意味を改めて見つめなおす。日本語・英語・ポルトガル語の3カ国語で収載。

新書判／182頁 定価：1,100円（税込）

Dharma Words —Shinran's Teachings in Modern Poetry—



B6判（横長）
 28頁・オールカラー
 定価：550円（税込）

法語（日本語・英語）を、東本願寺の四季の写真とともに紹介。法語集としても、また写真集としても味わっていただける一冊。

GUIDEBOOK HIGASHI HONGANJI



A5判
 40頁・オールカラー
 定価：1,100円（税込）

東本願寺の英語版ガイドブック。基本的な仏教・真宗の教えの解説から始まり、重要文化財である主な建物などを紹介。

SERVICE BOOK [Compact edition]



B6判／108頁
 定価：1,100円（税込）

『正信偈 同朋奉讃 勤行集』にローマ字を併記し、海外の方と一緒に勤めができる勤行本。北米開教区が発行した『SERVICE BOOK』のコンパクト版。

BUTTEN DŌWA- 英訳仏典童話



A6変形判
 82頁・オールカラー
 定価：880円（税込）

渡邊愛子 文
 横河頭一 訳
 畠中光享 絵

絵本『仏典童話』（10篇）の原文（日本語）とともに英訳を付した一冊。畠中光享氏の挿絵入。



東本願寺出版

TEL:075-371-9189
 FAX:075-371-9211

詳しい書籍情報・試し読みは

東本願寺出版

検索

当派の寺院・教会からのご注文は2割引となります。